

三菱電機 パッケージエアコン (R410A対応)

設備用インバーターエアコン ファシリアDD 室内ユニット

形名

空冷ヒートポンプ形

標準タイプ<床置形>

PFHV-P80,140,224,280,450,560,
670,800,1120,1400,1600DMJ1

PFHV-P80,140,224,280,450,560,
670,800,1120,1400,1600VDMJ1

PFHV-P80,140DMJ1-C

PFHV-P80,140VDMJ1-C

オールフレッシュタイプ<床置形>

PFHV-P167,265,335,530,670,1000,
1250,1600DMJ1-F

PFHV-P167,265,335,530,670,1000,
1250,1600VDMJ1-F

PFHV-P167DMJ1-C-F

PFHV-P167VDMJ1-C-F

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 各部の名称	7
2. 付属品	9
3. 別売部品	11
4. ご使用の前に	12
5. 使用方法	15
6. お手入れ	51
7. 定期点検のお願い	60
8. 製品独自のお願い事項	62
9. 据付工事の確認と試運転	63
10. 仕様	64
11. 修理を依頼する前に	72
12. 法令関連の表示	74
13. 保証とアフターサービス	75
14. 環境関連の表示	78

取扱説明書

- このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は室外ユニットに添付しています。室外ユニットの保証書でセットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は「お買上げ日(据付日または試運転完了日)・販売店名(工事店名)」などの記入を確かめて、販売店(工事店)からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」および「保証書」をお渡しください。
- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

もくじ

	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 各部の名称	7
1-1. 室内ユニット	7
1-2. 室外ユニット	8
2. 付属品	9
3. 別売部品	11
4. ご使用の前に	12
4-1. 使用上のお願い	12
4-2. 各種運転について	13
5. 使用方法	15
5-1. リモコンの操作について	15
5-2. その他の操作について	45
5-2-1. 長期間使用しないとき	45
5-2-2. データモニタリング機能	46
5-2-3. メンテナンスモード操作	47
6. お手入れ	51
7. 定期点検のお願い	60
8. 製品独自のお願い事項	62
8-1. 廃棄について	62
8-2. 移設時の据付場所について	62
9. 据付工事の確認と試運転	63
10. 仕様	64
11. 修理を依頼する前に	72
12. 法令関連の表示	74
12-1. 機器予防保全の目安	74
12-2. 消耗部品の点検周期目安	74
13. 保証とアフターサービス	75
13-1. 保証について	75
13-1-1. 保証できない範囲	75
13-2. 補修用性能部品の保有期間	75
13-3. 修理について	76
13-4. 移設について	76
13-5. お問い合わせ	77
14. 環境関連の表示	78

安全のために必ず守ること

- ◆ この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆ 図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- ◆ お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆ お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項



警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- ◆ 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- ◆ 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

以下の特殊な環境では使用しないこと。

- ◆ 油・蒸気・有機溶剤・粉塵・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ
- ◆ 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

- ◆ 性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

吹き出し風を身体に直接当てないこと。

- ◆ オールフレッシュタイプの場合、外気を直接吹き出す。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- ◆ 燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



禁止

冷やし過ぎないこと。

- ◆ 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- ◆ 保護装置を改造して運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆ 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆ 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。


- ◆ 工具などが落下すると、けがのおそれあり。



禁止

ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。


- ◆ 引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。


- ◆ 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

ヒューズ交換時は、針金・銅線を使用しないこと。指定容量のヒューズを使用すること。


- ◆ 発火・火災のおそれあり。



禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。


- ◆ 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



接触禁止

ユニットを水・液体で洗わないこと。


- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

電気部品に水をかけないこと。


- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

水の入った容器を製品などの上に載せないこと。


- ◆ 水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。


- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など、高所では足を踏み外さないように作業すること。


- ◆ 落下・転倒し、けがのおそれあり。



指示を
実行

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。


- ◆ けが・感電のおそれあり。
- ◆ 回転機器により、けがのおそれあり。



指示を
実行

換気をよくすること。


- ◆ 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆ 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。



換気を
実行

燃焼器具を使用する場合は換気をよくすること。


- ◆ 不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



換気を
実行

室内温度を管理すること。


- ◆ オールフレッシュタイプの場合、停止時でも外気が流入する。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



指示を
実行

アルコールで消毒した場合、換気をして周囲に充満するアルコールガスを取り除くこと。


- ◆ ガスを取り除かずに電源を入れた場合、引火・爆発するおそれあり。
(本製品は防爆仕様ではありません)



指示を
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。


- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口ご連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を
実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。


- ◆ ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

フィルター・熱交換器・ヒーターは定期的に点検・清掃すること。


- ◆ 電気ヒーターを組んでいる場合、ほこり・ゴミの付着による発煙・発火のおそれあり。



指示を
実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。


- ◆ ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。



指示を
実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ◆ 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を
実行

注意

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ◆ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。



禁止

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- ◆保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- ◆悪影響のおそれあり。



禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆けがのおそれあり。



接触禁止

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ◆ほこりが目に入り、けがのおそれあり。



指示を
実行

保護具を身に付けて操作すること。

- ◆主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



指示を
実行

電気部品に触る場合は、保護具を身に付けること。

- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。



指示を
実行

作業する場合は保護具を身に付けること。

- ◆けがのおそれあり。



指示を
実行

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- ◆けがのおそれあり。



指示を
実行

ユニット内の冷媒は回収すること。

- ◆冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- ◆大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。



指示を
実行

販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ◆ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- ◆においが発生するおそれあり。



指示を
実行

移設・修理をするときに

警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- ◆不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

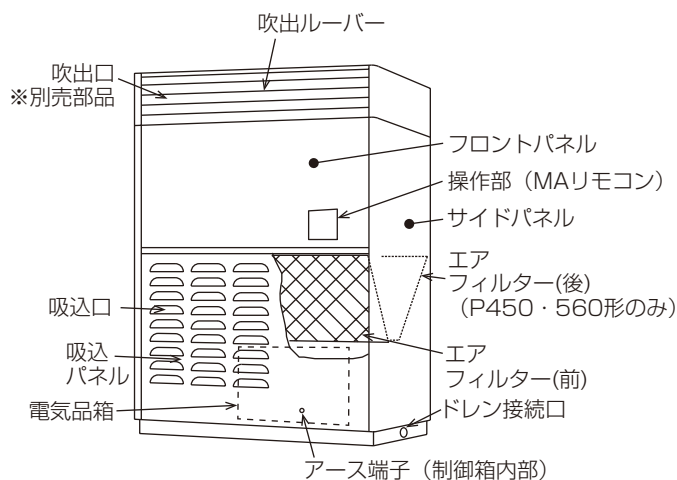


指示を
実行

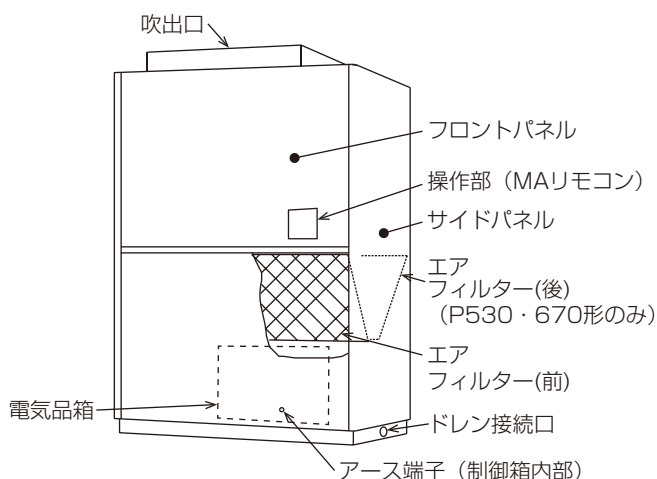
1. 各部の名称

1-1. 室内ユニット

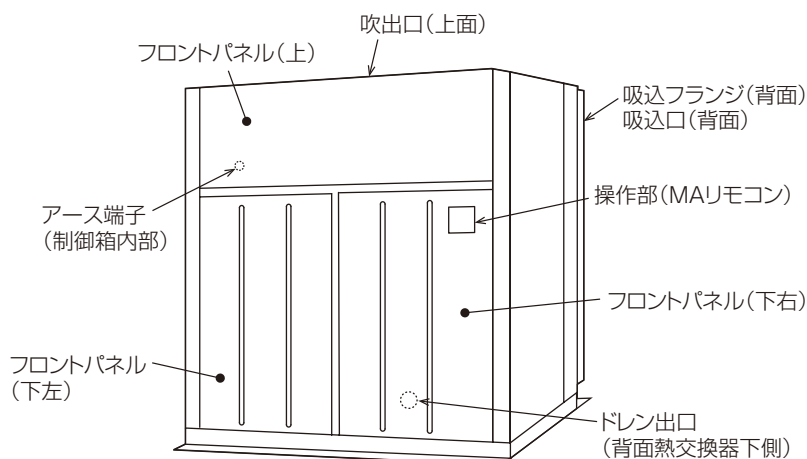
PFAV-P80(V)DMJ1, PFAV-P140(V)DMJ1,
PFAV-P224(V)DMJ1, PFAV-P280(V)DMJ1,
PFAV-P450(V)DMJ1, PFAV-P560(V)DMJ1



PFAV-P167(V)DMJ1-F, PFAV-P265(V)DMJ1-F,
PFAV-P335(V)DMJ1-F, PFAV-P530(V)DMJ1-F,
PFAV-P670(V)DMJ1-F

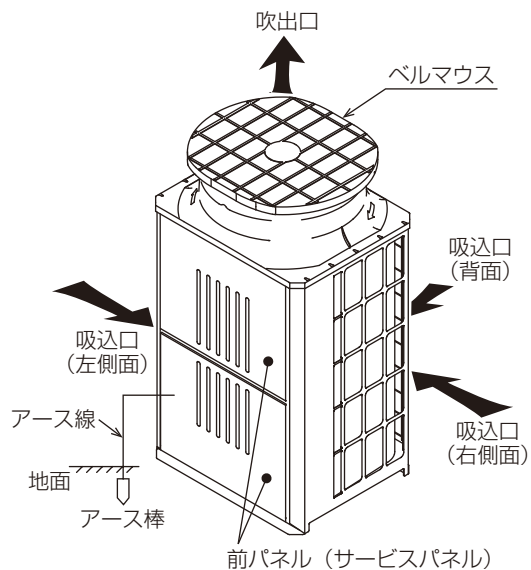


PFAV-P670(V)DMJ1, PFAV-P800(V)DMJ1,
PFAV-P1120(V)DMJ1, PFAV-P1000(V)DMJ1-F,
PFAV-P1250(V)DMJ1-F, PFAV-P1400(V)DMJ1,
PFAV-P1600(V)DMJ1, PFAV-P1600(V)DMJ1-F

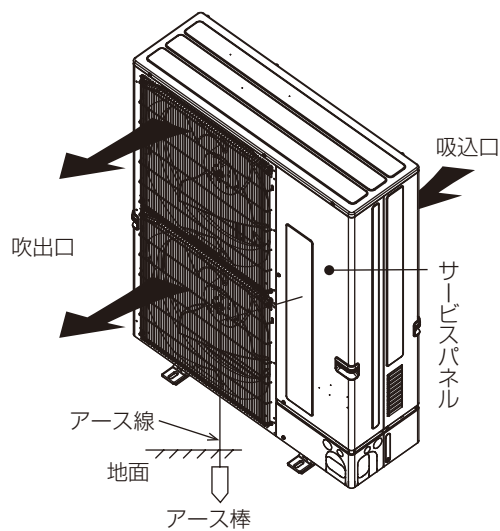


1-2. 室外ユニット

PUHV-P224(V)DMJ1 (-BS,BSG),
PUHV-P280(V)(S)DMJ1 (-BS,BSG),
PUHV-P400(V)SDMJ1 (-BS,BSG),
PUHV-P450(V)DMJ1 (-BS,BSG),
PUHV-P500(V)SDMJ1 (-BS,BSG)




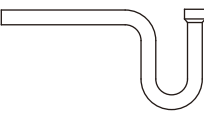
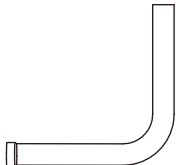
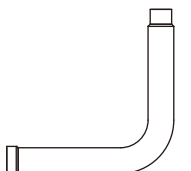
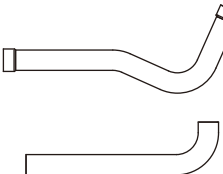
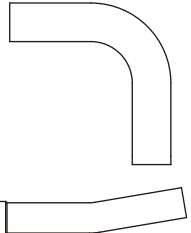
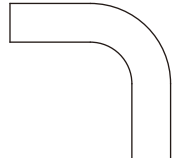


PUHV-P80(V)DMJ1 (-C),
PUHV-P140(V)DMJ1 (-C)

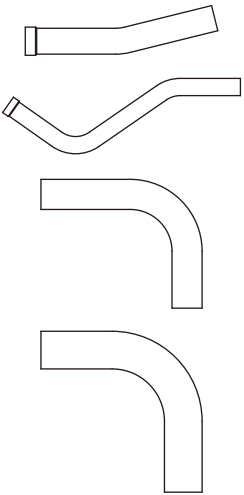
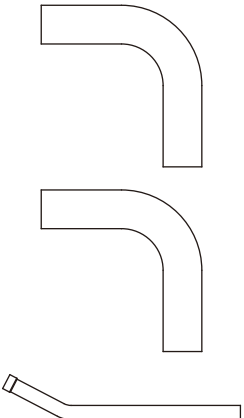


2. 付属品

本製品には下記部品が付属しています。据付前に確認してください。

機種	付属品	個数	付属場所	外形
PFAV-P80・140・224・280(V)DMJ1 PFAV-P167・265・335(V)DMJ1-F	付属配管(ガス)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P80・140・224・280(V)DMJ1 PFAV-P167・265・335(V)DMJ1-F	付属配管(液)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P450・560(V)DMJ1 PFAV-P530・670(V)DMJ1-F	付属配管(ガス)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P450・560(V)DMJ1 PFAV-P530・670(V)DMJ1-F	付属配管(液)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P670(V)DMJ1 PFAV-P800(V)DMJ1 PFAV-P1000(V)DMJ1-F	付属配管(ガス)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P1120(V)DMJ1 PFAV-P1250(V)DMJ1-F				
PFAV-P670(V)DMJ1 PFAV-P800(V)DMJ1 PFAV-P1000(V)DMJ1-F PFAV-P1120(V)DMJ1 PFAV-P1250(V)DMJ1-F	付属配管(液)	2	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P1400(V)DMJ1 PFAV-P1600(V)DMJ1-F	付属配管(ガス)	2	ユニット内部 (ドレンパン上)	
	付属配管(液)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	

2. 付属品

機種	付属品	個数	付属場所	外形
PFAV-P1600(V)DMJ1	付属配管 (ガス)	4	ユニット内部 (ドレンパン上)	
	付属配管 (液)	3		

3. 別売部品

パッケージエアコンには、多様な使い方に対応していただけるように、専用の別売部品を用意しています。
(異電圧仕様 (PFHV-P・VDMJ1 (-F)) は受注仕様となります。)

(1) 標準タイプ

- **補助電気ヒーター**

ユニット内に組込んで、配線工事をすることで暖房運転補助を行います。

- **加湿器 (ベーパーパン式)**

暖房のときは室内の湿度が下がります。健康のためにも、家具や調度品などの乾きすぎをさけるためにも、適度な加湿が必要です。加湿器を組込むことにより室内を適度な湿度に保ち、理想的な暖房運転ができます。冷房運転での加湿はP670, 800, 1120, 1400, 1600形ではできません。

- **その他**

圧力計・遠方表示キット・遠方操作キットなど、豊富な別売部品を用意しています。

(上記別売部品は、機種により組込みできない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。)

(2) オールフレッシュタイプ

- **加湿器 (ベーパーパン式)**

暖房のときは室内の湿度が下がります。健康のためにも、家具や調度品などの乾きすぎをさけるためにも、適度な加湿が必要です。加湿器を組込むことにより室内を適度な湿度に保ち、理想的な暖房運転ができます。冷房運転での加湿はできません。

- **その他**

圧力計・遠方表示キット・遠方操作キットなど、豊富な別売部品を用意しています。

(上記別売部品は、機種により組込みできない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。)

4. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- 本製品の据付工事は、販売店(工事店)が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、「9. 据付工事の確認と試運転(63ページ)」の事項をお客様ご自身でご確認ください。
- 販売店(工事店)が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店(工事店)から説明を受けてください。

4-1. 使用上のお願い

警告

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- オールフレッシュタイプの場合、外気を直接吹き出す。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

室内温度を管理すること。

- オールフレッシュタイプの場合、停止時でも外気が流入する。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



指示を
実行

冷やし過ぎないこと。

- 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

お願い

- ユニット側面の外気取入口より外気を導入する場合は、外気取入量を全体風量の10%以下としてください。
※ **オールフレッシュタイプの場合**
室内ユニットに一次処理しない外気を直接取入れる場合、厳冬期に吸込口周辺が結露し、露が落ちる場合があります。このような場合は、室内ユニット周囲に防水処理を施すなどの処置をとってください。
- ユニット背面の吸込ダクトフランジより室内空気と混合した外気を導入する場合は、十分混合すると共に「運転温度範囲のめやす」の室内側吸込空気の温度になるまで一次処理してください。
- 吹出口・吸込口を塞がないでください。
風の流れを妨げた場合、能力低下、および故障するおそれがあります。

“インバーターエアコン”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

1) 室内温度(室温)は最適にしてください。

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やし過ぎは電力のムダ使いにもなります。
たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

2) 冷房時は熱の侵入を少なくしてください。

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしてください。

3) フィルターの清掃をしてください。

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また故障の原因にもなります。
- フィルターは通常的环境下では53ページに記載の時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。
- 操作部(MAリモコン)は、フィルターサイン表示が可能です。

4) 室内の温度ムラ解消に風向調節をしてください。

- ・冷房時、冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- ・暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。

5) ときどき換気をしてください。

- ・長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- ・送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。
- ・冷房・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“口スナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

6) 使用温度範囲について

- ・使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、機器が異常停止したり、故障のおそれがあります。

標準**冷房**

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	-15～43℃
湿球温度	10～25℃	—

暖房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	14～30℃	—
湿球温度	—	-20～15.5℃

※ 露点温度23℃以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が水漏れに至るおそれがあります。

※ 冷房時室外吸込温度-15～-5℃でご使用の場合は、別売エアガイド又は、防雪フードが必要です。
(P80, 140形)

※ 冷房時室外吸込温度-15～-5℃でご使用の場合は、安定した運転のために防雪フード(吹出ダクト、吸込ダクト)を取付けてください。(P224, 280, 400, 450, 500形)

オールフレッシュタイプ**冷房**

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	15～43℃
湿球温度	10～35℃	—

暖房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	-3～25℃ ※1	—
湿球温度	—	-6.5～22.5℃ ※2

※1 室内側吸込空気温度が5℃以下の場合には、加湿器凍結防止のため、強制的に暖房運転することがあります。

※2 室内ユニット吸込空気を-3℃以上となるように一次処理する場合は、室外側吸込空気湿球温度-20～22.5℃での運転が可能です。

4-2. 各種運転について

1) 暖房運転について

- ・運転を停止しても風が出る:運転停止後約1分間、室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわります。

2) 送風運転について

- ・送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

3) 換気連動運転について

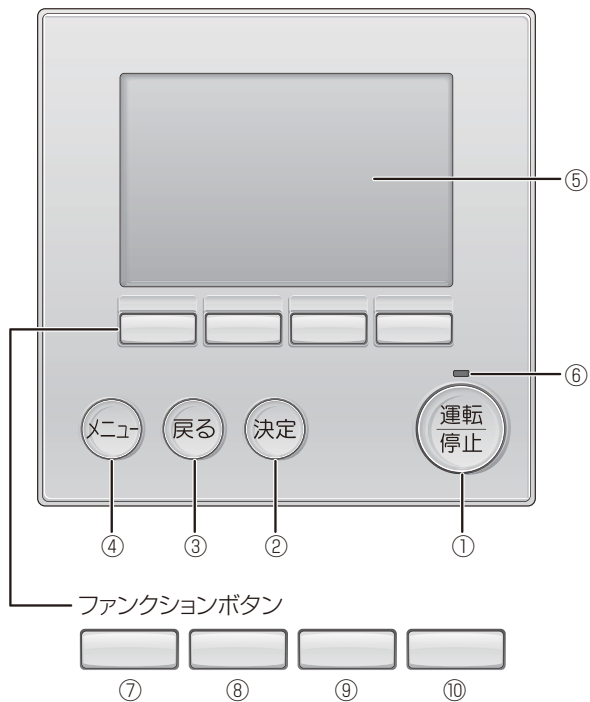
- ・エアコンの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

4) 霜取運転（霜取中）について

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。霜取運転は約7分程度（最大12分）で終わります。
 - 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
- ※ 設定により霜取中も送風機が運転することがあります。設定についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

各部の名前とはたらき

操作部



① [運転/停止] ボタン

1 度押すと運転し、もう 1 度押すと停止します。

② [決定] ボタン

設定の決定をします。

③ [戻る] ボタン

前の画面に戻ります。

④ [メニュー] ボタン

22 ページ

メインメニューを表示します。
メインメニュー画面表示時はメイン画面に戻ります。

⑤ 液晶表示部 (バックライト付)

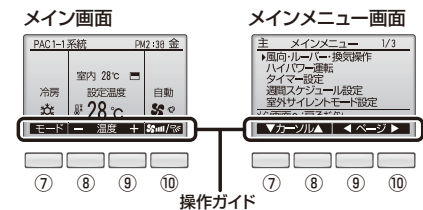
運転内容を表示します。
バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。

バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。
バックライトのみ点灯します。
([運転/停止] ボタンは除く)

⑥ 運転ランプ

運転中、緑色に点灯します。
立上げ時・異常時は点滅します。

ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。
液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。
集中管理中、操作ロックにより操作が禁止されている項目に対応する操作ガイドは表示されません。



⑦ ファンクションボタン [F1]

メイン画面：運転モードを切換えます。
メインメニュー画面：カーソルが下に移動します。

⑧ ファンクションボタン [F2]

メイン画面：設定温度を下げます。
メインメニュー画面：カーソルが上に移動します。

⑨ ファンクションボタン [F3]

メイン画面：設定温度を上げます。
メインメニュー画面：前のページを表示します。

⑩ ファンクションボタン [F4]

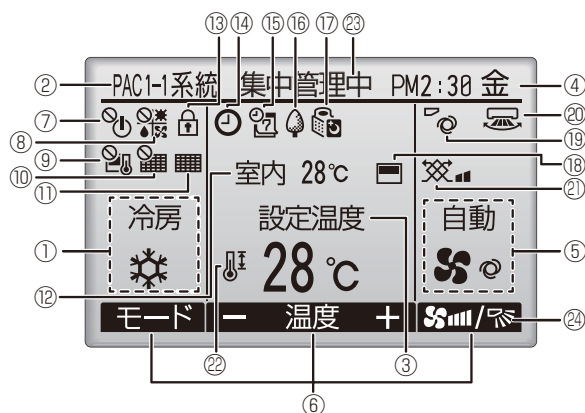
メイン画面：風速を切換えます。
メインメニュー画面：次のページを表示します。

表示部

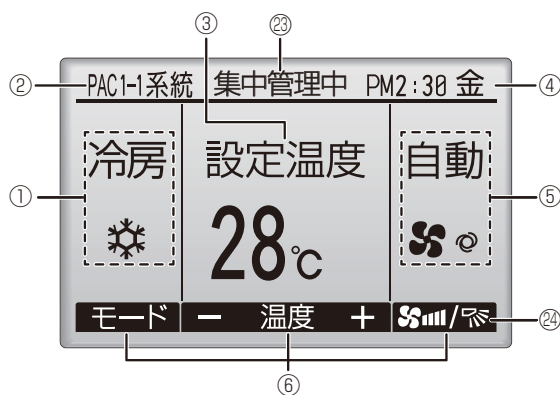
メイン画面の表示には、「詳細」と「簡易」の2種類があります。
出荷時は詳細表示となっています。
簡易画面への切り換えは「メイン画面表示設定」で変更します。(36ページ参照)

詳細画面

※説明のためすべてのアイコンを表示しています。



簡易画面



- | | | | |
|---|-------------------|--|-------|
| ① 運転モード表示 | 19ページ | ⑬ 表示 | 33ページ |
| 運転中の状態を表示します。 | | 操作ロック設定が有効の時に表示します。 | |
| ② リモコン名表示 | (据付工事説明書(設定編)を参照) | ⑭ 表示 | 27ページ |
| リモコンの名前を表示します。
(異常猶予中は4桁のコードを表示します) | | オン/オフタイマーまたは消忘れ防止タイマー設定が有効の時に表示します。
タイマー設定が集中管理中の時は を表示します。 | |
| ③ 設定温度表示 | 20ページ | ⑮ 表示 | 29ページ |
| 設定温度を表示します。 | | 週間スケジュールタイマー設定が有効の時に表示します。 | |
| ④ 時刻表示 | (据付工事説明書(設定編)を参照) | ⑯ 表示 | |
| 現在の時刻を表示します。 | | 省エネ制御中に表示します。 | |
| ⑤ 風速表示 | 20ページ | ⑰ 表示 | 31ページ |
| 風速の状態を表示します。 | | 室外サイレントモード制御中に表示します。 | |
| ⑥ 操作ガイド | | ⑱ 表示 | |
| ファンクションボタンの機能名を表示します。 | | ⑳の室内温度を検知するセンサー位置がリモコンの時に表示します。
室内ユニットの時は を表示します。 | |
| ⑦ 表示 | | ⑲ 表示 | 26ページ |
| 発停操作が集中管理中の時に表示します。 | | 風向の状態を表示します。 | |
| ⑧ 表示 | | ⑳ 表示 | 26ページ |
| 運転モード操作が集中管理中の時に表示します。 | | ルーバーの状態を表示します。 | |
| ⑨ 表示 | | ㉑ 表示 | 26ページ |
| 設定温度操作が集中管理中の時に表示します。 | | 換気の状態を表示します。 | |
| ⑩ 表示 | | ㉒ 表示 | 32ページ |
| フィルターリセット操作が集中管理中の時に表示します。 | | 設定温度範囲制限設定が有効の時に表示します。 | |
| ⑪ 表示 | 43ページ | ㉓ 集中管理中表示 | |
| フィルターのお手入れ時期になると表示します。 | | 集中管理された項目を操作すると「集中管理中」を一定時間表示します。 | |
| ⑫ 室内温度表示 | (据付工事説明書(設定編)を参照) | ㉔ 表示 | 20ページ |
| 現在の室内温度を表示します。
オールフレッシュの吹出温度制御の場合は、吹出温度を表示します。 | | 風速を切替えます。 | |

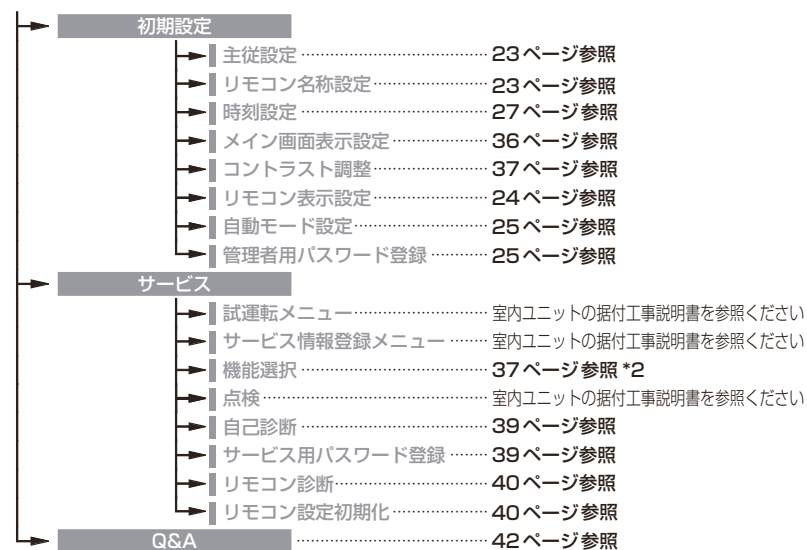
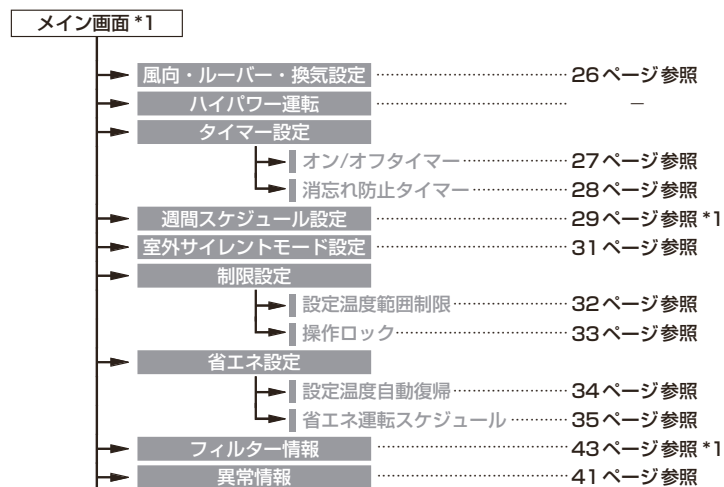
基本運転(運転/停止、運転モード切替、風速切替、温度設定)以外はメニュー画面からの設定となります。(22ページ参照)

ご使用の前に

- 本製品を含む冷暖房装置の据付工事、試運転は、工事店・販売店の資格所持者が実施しております。
- 本製品をお使いいただく前に据付工事説明書をご確認ください。その際、本製品を含む冷暖房装置のシステム構成と本製品の運転手順・安全を確保するための正しい使い方についても説明を受けてください。
- 本製品の移設や修理は、販売店または専門業者に依頼してください。お客様自身で据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

画面の流れ

[メニュー] ボタンを押すと、メインメニュー画面が表示されます。
メインメニュー画面での操作のしかたは22ページを参照してください



室内ユニットの機種により、設定できない項目があります。

取扱説明書内のアイコンの説明

使用方法

タイマー設定



取扱説明書内にマークがある時、以下の内容を表示しています。



設定を変更する場合、管理者用(またはサービス用)パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。



- [F1] ボタン:カーソルが左に移動します。
- [F2] ボタン:カーソルが右に移動します。
- [F3] ボタン:数字を1減らします。
- [F4] ボタン:数字を1増やします。



※パスワードがわからない場合、異なった場合は設定変更できません。



主リモコンのみ操作することができます。



運転中にのみ操作することができます。



停止中にのみ操作することができます。



冷房・暖房・自動運転中のみ操作することができます。



操作ロック中、集中管理中に操作することができません。

使用方法・基本操作

運転・停止



操作方法

運転



[運転/停止] ボタンを押します。
運転ランプ(緑)が点灯し、運転を開始します。

停止



もう一度 [運転/停止] ボタンを押します。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。

再運転内容

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度
風速	前回設定風速

設定温度範囲

運転モード	設定温度範囲	
冷房(標準、オールフレッシュ)	14℃～30℃	
暖房 標準	14℃～30℃	
	オールフレッシュ(吸込み)	17℃～30℃
	オールフレッシュ(吹き出し)	17℃～35℃
自動	14℃～30℃	
デュアルオートモード	冷房	冷房モードの設定温度範囲(P.33参照)
	暖房	暖房モードの設定温度範囲(P.33参照)
送風・換気	設定できません。	

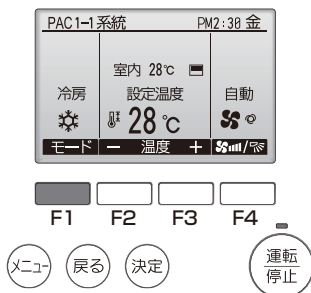
上記の設定範囲はシステムにより設定可能な温度範囲が制限される場合があります。

運転モード・温度設定・風速



運転モード設定方法

操作方法



[F1] ボタンを押すごとに「冷房」「送風」「自動」「暖房」の順に変わります。ご希望の運転に切換えます。



- 室内ユニットの機種により設定できない運転モードは表示されません。
- 室内ユニットの機種によっては、デュアルオートモードになります。ただし、運転モードの表示は「自動」です。

モード表示が点滅する場合

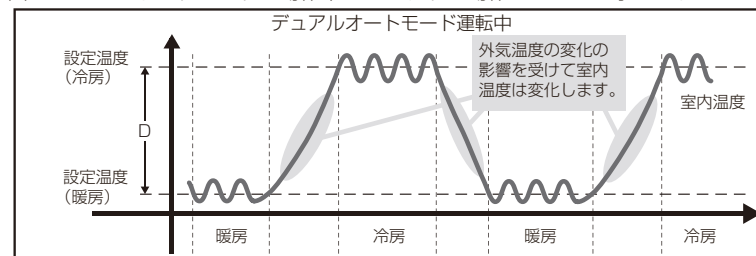
室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転している場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。後押しで異なる運転モードは設定できません。

- ※ 自動モードをリモコンに表示させるには、リモコンで自動モードを使用するに設定すること以外に室外ユニットのスイッチ設定を変更する必要があります。スイッチ設定の詳細については「設計工事マニュアル」「サービスハンドブック」を参照ください。(P80・140形はスイッチ設定の変更は不要です。)
- オールフレッシュ機種は室温温度制御、吹出温度制御とも自動モードを設定しないでください。

デュアルオートモード

デュアルオートモードでは、2値（冷房・暖房）の温度を設定でき、デュアルオートモード運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切換え、2つの設定温度内に室内温度を維持します。デュアルオートモードで設定された冷房と暖房の設定温度は冷房、暖房モードそれぞれ設定温度の設定に反映されます。

下図はデュアルオートモードで動作中のユニットの動作パターンを示します。

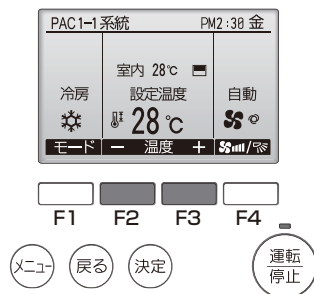


- ※ 冷房設定温度と暖房設定温度の差(D)の最小値は、機能選択(P.38参照)により変更できます。(初期値は2°C)
- ※ オールフレッシュ機種はデュアルオートモードを使用しないでください。
- ※ デュアルオートモードを選択すると、冷房・暖房時の設定可能な温度範囲が狭くなります。また、最小温度差(D)を大きくするとよりエコを意識した温度設定に制限可能ですが、設定可能な温度範囲が狭くなります。
- ※ 受注仕様によってはデュアルオートモードをご使用になれない場合があります。

温度設定方法

冷房、暖房、自動の場合

操作方法

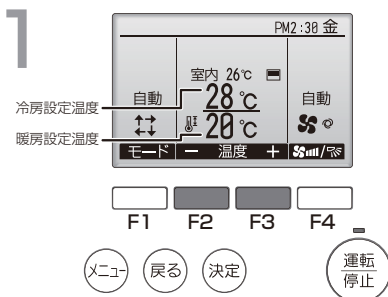


設定温度は [F2] ボタンを押すごとに下がり、
[F3] ボタンを押すごとに上がります。

- 設定可能範囲は設定温度範囲（18ページ）を参照ください。
- 送風・換気運転の場合は設定できません。
- 設定温度は室内ユニットの機種とリモコン表示設定により 0.5℃単位または 1℃単位で表示されます。

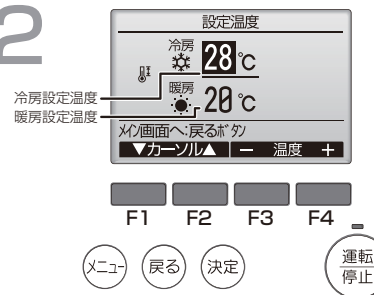
デュアルオートモードの場合

操作方法



現在の設定温度が表示されます。
[F2] または [F3] ボタンを押すと設定画面が表示されます。

2



[F1] または [F2] ボタンを押してカーソルを動かし、変更する設定温度（冷房設定温度または暖房設定温度）を選択します。
選択された設定温度は [F3] ボタンを押すごとに設定温度が下がり、[F4] ボタンを押すごとに設定温度が上がります。

- 各モードで設定できる温度範囲は18ページを参照してください。
- デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は冷房、暖房モードの設定温度とそれぞれ共通です。
- デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は、以下の条件で設定できます。
 - ・冷房設定温度が暖房設定温度よりも高く、温度差Dが最小温度差以上（19ページ参照）

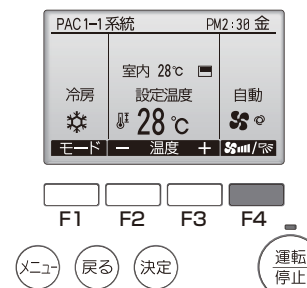
※ 設定温度を最小温度差未満となるように操作した場合は、最小温度差を保ったままもう一方の値も変更されます。

画面移動方法

- 前の画面に戻る・・・[戻る] ボタン

風速設定方法

操作方法



本機能は対応しておりません

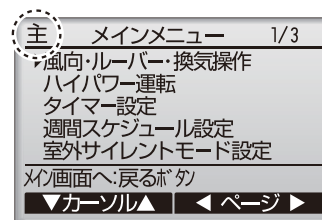
使用方法・メニュー操作

メインメニュー一覧

設定および表示項目	詳細内容	参照
風向・ルーバー・換気設定	本機能対応しておりません。	P.26
ハイパワー運転	本機能対応しておりません。	-
タイマー設定	オン/オフタイマー 運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ※時刻設定が必要です。	P.27
	消忘れ防止タイマー 運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ■ 設定時間は10分単位で30～240分まで選択可能です。	P.28
週間スケジュール設定	1週間の運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■ 1日最大8パターンまで設定可能です。 ※時刻設定が必要です。 ※オン/オフタイマー有効中は動作しません	P.29
室外サイレントモード設定	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 1週間の室外サイレントモード運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■ 静音レベルは「標準」「中」「静」から設定します。 ※時刻設定が必要です。	P.31
制限設定	設定温度範囲制限 設定温度の範囲を制限します。 ■ 運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	P.32
	操作ロック 指定した操作をロックします。 ■ 操作ロック中は指定した操作が無効となります。	P.33
省エネ設定	設定温度自動復帰 設定時間後に設定した温度に戻ります。 ■ 設定時間は10分単位で30～120分まで選択可能です。 ※設定温度範囲制限が有効の時は機能しません。	P.34
	省エネ運転スケジュール 1週間の省エネ運転開始時刻と停止時刻、能力セーブ値を設定します。 ■ 1日最大4パターンまで設定可能です。 ■ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ■ 能力セーブ値は10%単位で90～50%、0%から選択可能です。 ※時刻設定が必要です。	P.35
フィルター情報	フィルターサイン発生状況を表示します。 ■ フィルターサインの解除を行います。	P.43
異常情報	ユニットに異常が発生した時、異常内容を表示します。 ■ 異常コード、異常発生元、M-NETアドレス、形名、製造番号、連絡先情報（販売店名、サービス店名、電話番号）を表示します。 ※形名以降はあらかじめ入力が必要です。 ■ 携帯電話点検コード検索サービスサイトのアクセス先を表示します。	P.41

設定および表示項目	詳細内容	参照
初期設定	時刻設定 現在の時刻を設定します。	P.27
	メイン画面表示設定 メイン画面の詳細表示と簡易表示の切換えを行います。 ■ デフォルト：詳細表示	P.36
	コントラスト調整 液晶の濃度の調整を行います。	P.37
	機能選択 リモコンから必要に応じ各室内ユニットの機能を設定します。	P.37
サービス	リモコン設定初期化 リモコンを出荷状態に戻します	P.40
Q&A	代表的なトラブルシューティングなどが表示されます。	P.42

従リモコンの制約事項



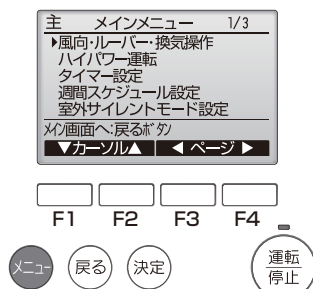
従リモコンでは以下の設定ができないので、主リモコンにて設定してください。
主リモコンの場合、メインメニューのタイトル欄に「主」表示があります。
■ タイマー設定（オン/オフタイマー、消忘れ防止タイマー）
■ 週間スケジュール設定
■ 室外サイレントモード設定
■ 省エネ設定（設定温度自動復帰、省エネ運転スケジュール）

メインメニュー画面での操作のしかた



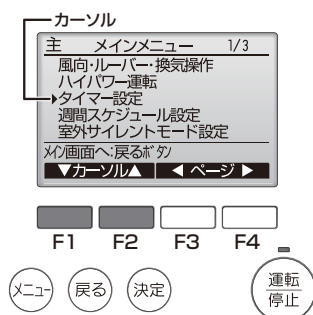
操作方法

画面表示



[メニュー] ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

項目選択



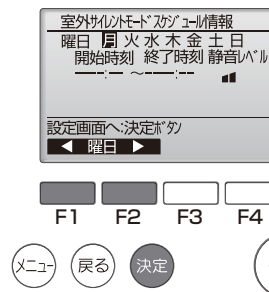
[F1] ボタンでカーソルが下がります。
[F2] ボタンでカーソルが上がります。

ページ移動



[F3] ボタンで前のページを表示します。
[F4] ボタンで次のページを表示します。

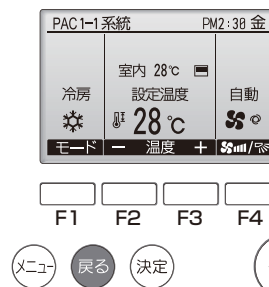
決定



ご希望の項目を選択し、[決定] ボタンを押します。

選択した設定画面が表示されます。

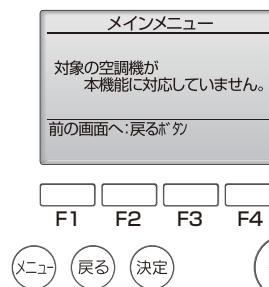
戻る



メインメニュー画面からメイン画面に戻るには [戻る] ボタンを押します。

各項目の設定途中で約 10 分間ボタン操作がない場合、自動でメイン画面に戻ります。
このとき設定途中の内容は無効となります。

機能未対応



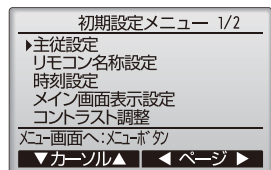
メニュー項目の選択操作を行った時、対象の室内ユニットが機能に対応していない場合、左記メッセージ画面を表示します。

使用方法・各種設定操作

初期設定



メイン画面から、「メインメニュー」→「初期設定」よりリモコン本体への各種設定をおこないます。



初期設定メニュー (1/2)

- ・主従設定
- ・リモコン名称設定
- ・時刻設定
- ・メイン画面表示設定
- ・コントラスト調整

初期設定メニュー (2/2)

- ・リモコン表示設定
 - －時刻表示
 - －温度単位表示
 - －室内温度表示
 - －自動冷暖表示
 - －特殊表示
- ・自動モード設定
- ・管理者用パスワード登録

主従設定

ペアリモコンで使用する時には必ず設定が必要です。ペアリモコンのうち1台を従リモコンに設定してください。

操作方法

- 1 [F3][F4] ボタンを操作する。
現在選択している項目が反転表示されます。

- 2 従リモコンを選択する。

- 3 [決定] ボタンにより設定更新する。

- 4 設定後、[メニュー]ボタンでメインメニュー画面に戻る。
(以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです)

リモコン名称設定



メイン画面に表示させる、リモコン名称の設定をおこないます。
リモコン名称は半角16文字まで入力できます。(テンプレートで入力した文字は1文字あたり半角2文字分となります。)

操作方法

- 1 [F1]～[F4] ボタンにて文字を選択し、[決定]ボタンで1文字ずつ決定する。

- 2 決定した文字を消去する場合は消去したい文字にカーソルを合わせて「DEL」Ⓐを選択し [決定] ボタンを押す。

- 3 「テンプレート」Ⓔを選択して [決定] ボタンを押す。
テンプレートを選択してリモコン名称を入力できます。(テンプレートは変更できません。)

- 4 「←」Ⓒ「→」Ⓓを選択する。
リモコン名称の文字入力カーソルⒺの文字が対象となり文字消去、変更ができます。

- 5 入力が完了したら、「終了」Ⓔを選択する。

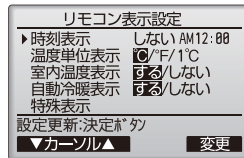
- 6 [決定] ボタンを押してリモコン名称を決定する。

リモコン表示設定

リモコンの表示に関する各項目について、必要に応じ設定をおこないます。各項目を設定後、**[決定]** ボタンにて設定更新します。

(1) 時刻表示 操作方法

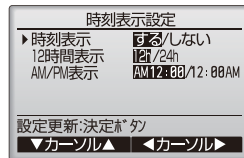
1



リモコン表示設定画面

リモコン表示設定画面の「時刻表示」にて**[F4]** (変更) ボタンを押す。
時刻表示設定画面が表示されます。

2



[F1]~[F4] ボタンにより、メイン画面に表示する時刻表示の有無、時刻表示形式を選択する。

3

[決定] ボタンにより設定を更新する。
(工場出荷時は「表示する / AM12:00 表示」です。)

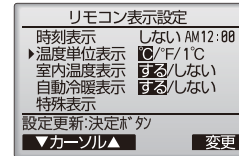
- 時刻表示 : ・ する (メイン画面に時刻表示します)
 ・ しない (メイン画面に時刻表示しません)
- 12 時間表示 : ・ 24h (24 時間表示) ・ 12h (12 時間表示)
- AM/PM 表示 (12 時間表示の時のみ有効となります):
 ・ AM12:00 (時刻の前に AM/PM 表示)
 ・ 12:00AM (時刻の後に AM/PM 表示)

お知らせ

- 12時間表示形式、12時間/24時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。
- 12時間表示、24時間表示それぞれの表示例は以下の通りです。
 - 12時間表示: AM12:00 ~ AM1:00 ~ PM12:00 ~ PM 1:00 ~ PM11:59
 - 24時間表示: 0:00 ~ 1:00 ~ 12:00 ~ 13:00 ~ 23:59

(2) 温度単位表示 操作方法

1



リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、**[F3]****[F4]** ボタンにて設定する。
(工場出荷時は摂氏1°Cです。)

- ℃ : 温度表示単位を摂氏表示にします。
室内ユニットの表示単位を0.5℃単位で表示します。
- ℉ : 温度表示単位を華氏表示にします。
- 1℃: 温度表示単位を摂氏表示(1℃単位)にします。
従リモコンの場合には本項目は表示されません。

※ 出荷時設定は1℃単位表示です。

(3) 室内温度の温度表示 操作方法

1

リモコン表示設定画面の、「室内温度表示」にカーソルを合わせ、**[F3]****[F4]** ボタンにて設定する。
(工場出荷時は「する」です。)

室内温度表示 する : メイン画面 (詳細画面) に室内温度を表示します。
 しない : メイン画面 (詳細画面) に室内温度を表示しません。

お知らせ

- 「する」に設定しても簡易画面には室内温度が表示されません。

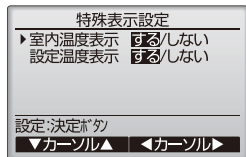
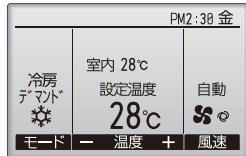
(4) 自動冷暖表示 操作方法

1

リモコン表示設定画面の、「自動冷暖表示」にカーソルを合わせ、**[F3]****[F4]** ボタンにて設定する。
(工場出荷時は「する」です。)

する : 自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」が表示されます。
しない : 自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

(5) 特殊表示
操作方法



ユニットが以下の制御中は特殊表示として該当する制御名称がリモコンに表示されます。

- 除湿 (“除湿中”を表示)
- デマンド (“デマンド”を表示)
- 圧縮機固定 (“Comp 固定”を表示)

※ リモコンの表示、各制御の詳細については室内ユニットの取扱説明書を参照ください。

本機では、特殊表示中の吸込温度、設定温度の表示有無を設定することができます。

【操作方法】

リモコン表示設定画面で、特殊表示を選択して特殊表示設定画面を表示します。

特殊表示(除湿、デマンド、圧縮機固定表示)時の室内温度、設定温度の表示有無を設定します。

リモコンが特殊表示をしていない場合は本設定は無効となります。

[F1][F2] ボタンにて室内温度表示、設定温度表示を選択します。

[F3][F4] ボタンにて設定します。(工場出荷は「する」です。)

[決定] ボタンにより設定を更新します。

室内温度表示

- する：特殊表示時、室内温度が表示されます。
- しない：特殊表示時、室内温度が表示されません。

お知らせ

- 室内温度は吸込温度と吹出温度のいずれかが表示されます。
- 「する」に設定しても簡易画面には室内温度は表示されません。また、前頁(3)室内温度の温度表示にて室内温度表示「しない」を設定している場合は本設定内容によらず、室内温度は表示されません。

設定温度表示

- する：特殊表示時、設定温度が表示されます。
- しない：特殊表示時、設定温度が表示されません。

自動モード設定

操作方法

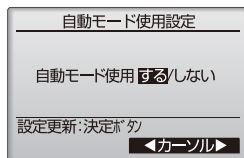
機種やシステムによっては本機能は使用できません。

1

自動運転モード機能のある室内ユニットに接続した場合、自動モード使用、不使用を[F3][F4]ボタンにて設定する。(工場出荷時は使用「する」です。)

※ オールフレッシュ機種は、「しない」に設定してください。

2



[決定] ボタンにより設定を更新する。

する：運転モード選択時に自動モードを表示します。

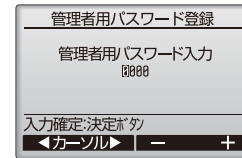
しない：運転モード選択時に自動モードを表示しません。

※ 本機能の使用時は工事マニュアルを参照ください。

管理者パスワード登録

操作方法

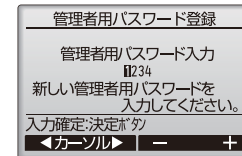
1



最初に現在設定されている管理者用のパスワード(数字4桁)を入力する。

[F1][F2] ボタンで桁を選択し、[F3][F4] ボタンにて0~9の数字を設定します。

2

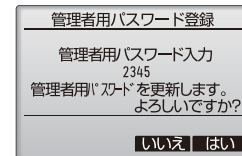


4桁のパスワードを入力後、[決定] ボタンを押す。パスワードが一致すると新規パスワード入力画面になります。

3

同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し、[決定] ボタンを押す。パスワード更新確認画面が表示されます。

4



[F4] (はい) ボタンにて更新する。

取り消す場合は[F3] (いいえ) ボタンを押します。

お願い

- 管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。
- パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ

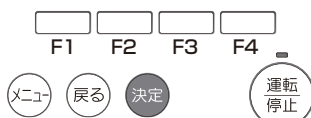
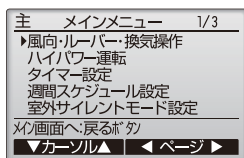
- 管理者パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて[F1][F2] ボタンを同時に3秒連続押しすると、パスワードを「0000」に初期化できます。
 - 管理者用パスワードは下記項目の設定時に必要となります。
 - ・タイマー設定
 - ・週間スケジュール設定
 - ・室外サイレントモード設定
 - ・制限設定
 - ・省エネ設定
 - ・メニュー操作ロック設定
- 各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

風向・ルーバー・換気設定



操作方法

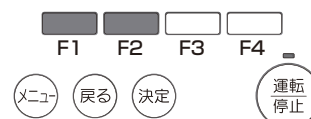
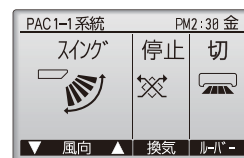
画面表示



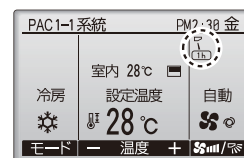
メインメニュー画面(22ページ参照)で「風向・ルーバー・換気操作」を選択し、[決定] ボタンを押します。

メイン画面で [F4] ボタンを1秒以上押ししても同じ操作となります。

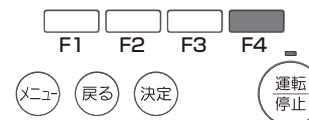
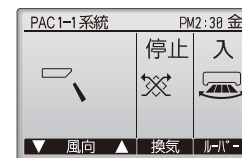
風向



本機能は対応しておりません。

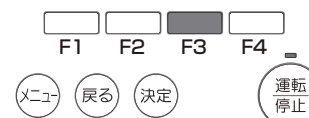
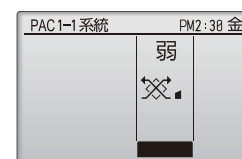


ルーバー



本機能は対応しておりません。

換気



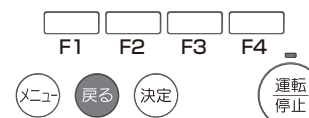
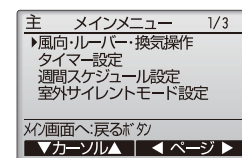
[F3] ボタンを押すごとに「停止」「弱」「強」の順に変わります。

※ 換気設定時のみ変更できます



■室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

戻る



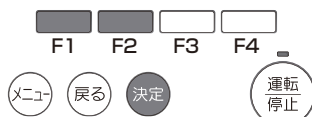
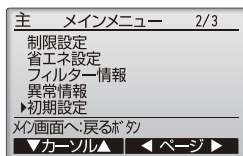
メインメニュー画面へ戻るには [戻る] ボタンを押します。

メイン画面から画面を切替えた場合は、メイン画面に戻ります。

時刻設定

操作方法

1

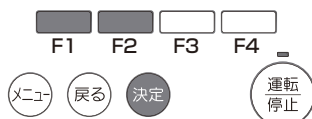
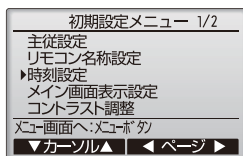


メインメニュー画面(22ページ参照)で「初期設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

以下の設定には時刻設定が必要です。

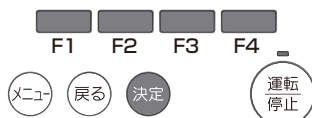
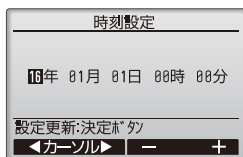
- オン/オフタイマー設定
- 週間スケジュール設定
- 室外サイレントモード設定
- 省エネ運転スケジュール

2



[F1][F2] ボタンで「時刻設定」を選択し [決定] ボタンを押します。

3



[F1][F2] ボタンで「年(西暦下二桁)」「月」「日」「時」「分」のうち、変更したい項目を選択します。

[F3][F4] ボタンで現在の日時に変更し、[決定] ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン

タイマー設定

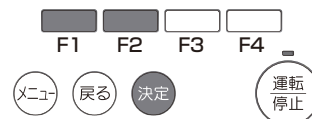
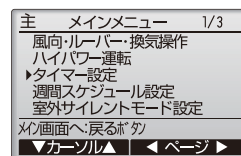


オン/オフタイマーの設定方法

毎日同じ時間に運転/停止する場合(繰返し)や、当日だけ運転/停止する場合(1回のみ)に設定します。運転/停止それぞれ1回ずつ設定できます。

操作方法

1

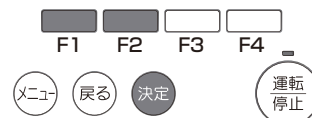
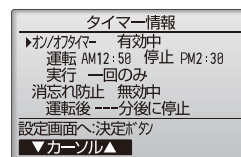


メインメニュー画面(22ページ参照)で「タイマー設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

以下の場合、オン/オフタイマー設定は実行されません。

オン/オフタイマー無効中/異常中/点検中(サービスメニュー内)/試運転中/リモコン診断中/時刻未設定/機能選択中/集中管理中(運転/停止またはタイマー機能が禁止の場合)

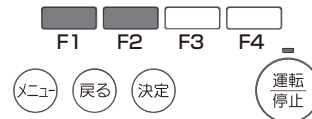
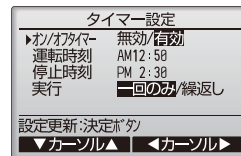
2



現在の設定状況が表示されます。

タイマー情報画面で「オン/オフタイマー」を選択し、[決定] ボタンを押します。

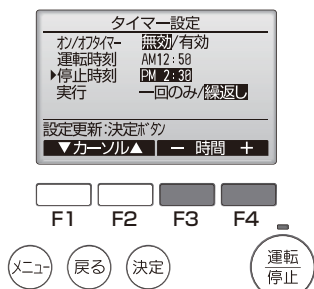
3



タイマー設定画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「オン/オフタイマー」「運転時刻」「停止時刻」「実行」のうち、変更したい項目を選択します。

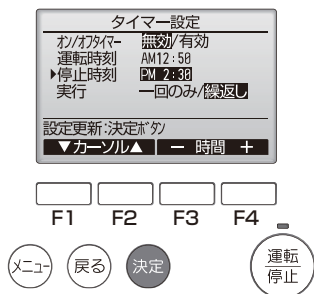
4



[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

- オン/オフタイマー 「無効」「有効」
 - 運転時刻 5分単位で設定 ※
 - 停止時刻 5分単位で設定 ※
 - 実行 「一回のみ」「繰返し」
- ※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

5




ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。

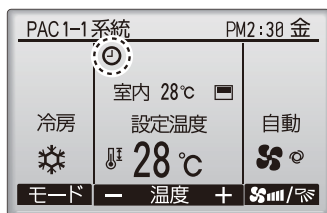
設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン

オン/オフタイマー設定が有効の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

このアイコンはタイマー機能が無効中または集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）には表示されません。

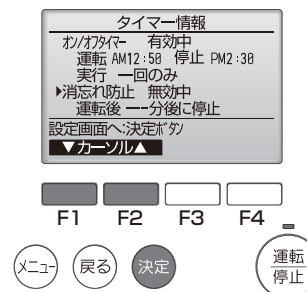


消忘れ防止タイマーの設定方法

設定した時間に運転を停止します。

操作方法

1



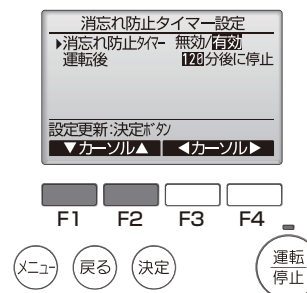
タイマー設定画面を表示します。

(27ページ参照)

タイマー設定画面で「消忘れ防止」を選択し、[決定] ボタンを押します。

以下の場合、消忘れ防止タイマー運転は実行されません。
消忘れ防止タイマー無効中/異常中/点検中（サービスメニュー内）/試運転中/リモコン診断中/機能選択中/集中管理中（運転/停止またはタイマー機能が禁止の場合）

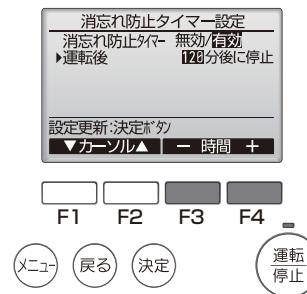
2



現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「消忘れ防止タイマー」「運転後」のうち、変更したい項目を選択します。

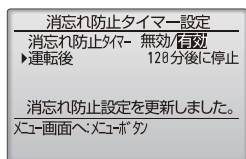
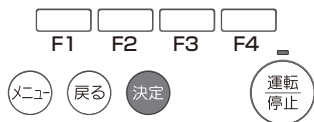
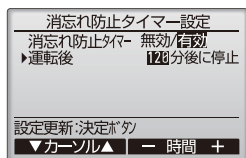
3



[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

- 消忘れ防止タイマー 「無効」「有効」
- 運転後 設定範囲：30～240分
10分単位で設定

4

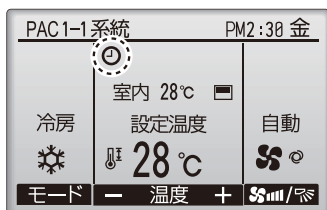



ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る…[戻る] ボタン



消忘れ防止タイマー設定が有効の時、詳細メニュー画面に「」が表示されます。

このアイコンはタイマー機能が無効中または集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）には表示されません。

週間スケジュール設定

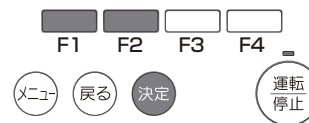
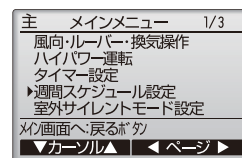


機能説明

曜日により運転スケジュールを変えたい場合、曜日ごとに運転 / 停止設定温度をスケジュール設定します。設定が重複した場合、オン / オフタイマーが優先されます。

操作方法

1



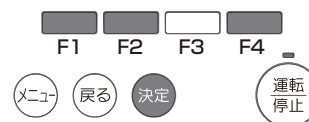
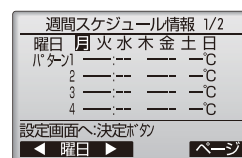
メインメニュー画面(22ページ参照)で「週間スケジュール設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

集中管理中（運転 / 停止、設定温度、運転モードが禁止の場合）でも、週間スケジュール運転は実行されますが、禁止されている設定内容は実行されません。

以下の場合、週間スケジュール運転は実行されません。

オン / オフタイマー有効中 / 週間スケジュール無効中 / 異常中 / 点検中（サービスメニュー内） / 試運転中 / リモコン診断中 / 時刻未設定 / 機能選択中 / 集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）

2



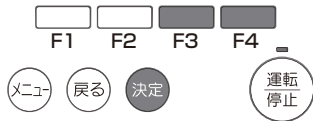
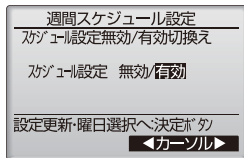
現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。

[F4] ボタンで5～8パターンを表示します。

設定画面へ進むには [決定] ボタンを押します。

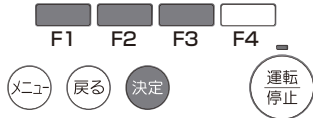
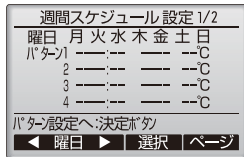
3



スケジュール設定無効 / 有効切換え画面が表示されます。

スケジュールを有効にする場合は、[F3][F4] ボタンで「有効」を選択し、[決定] ボタンを押します。

4

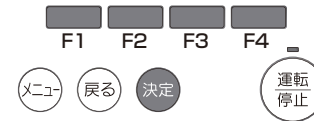
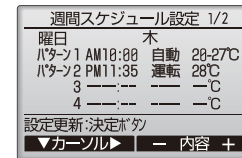


週間スケジュール設定画面が表示されます。
現在の設定状況が表示されます。
1日8パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、[F1][F2] ボタンで曜日を選択し、[F3] ボタンを押して設定する曜日を確定します。(曜日は複数選択できません)

ご希望の曜日に選択した後、[決定] ボタンを押します。

5



パターン設定画面が表示されます。

[F1] ボタンでパターンを選択します。

[F2] ボタンで「時刻」「運転 / 停止」「自動」「温度」を選択します。

[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

■時刻 5分単位で設定

※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

■運転 / 停止 「運転」「停止」「自動」

接続ユニットにより選択内容が異なります。

(自動のパターンが実行されるとデュアルオートモードで運転します)

■温度 設定範囲：接続される室内ユニットの
設定可能温度範囲。(1℃単位)

※ デュアルオートモードが選択されている場合、設定温度を2つ設定することができます。

設定値は例：20℃(暖房設定温度)、27℃(冷房設定温度)となります。

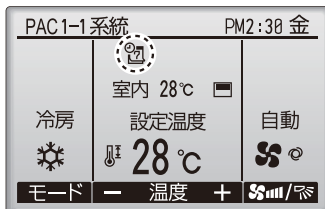
デュアルオートモードで運転中に、デュアルオートモード以外の設定温度パターンが実行された場合、その設定温度は冷房設定温度に反映されます。

ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- 設定更新・曜日選択画面に戻る…[決定] ボタン
- メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る…[戻る] ボタン



当日実行する週間スケジュール設定があるとき、詳細メイン画面に「🕒」が表示されます。

このアイコンはオン/オフタイマー有効中または集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）は表示されません。

室外サイレントモード設定

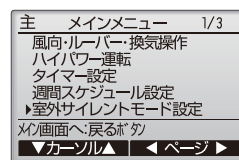


機能説明

静音性を優先して運転する時間帯を設定します。1週間の室外サイレントモード運転開始時刻と停止時刻を設定します。静音レベルは「標準」「中」「静」から設定します。
※ 室外機で室外サイレントモードを設定した場合は室外機側の設定が優先されます。

操作方法

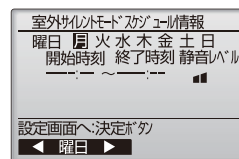
1



メインメニュー画面(22ページ参照)で「室外サイレントモード設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。



2

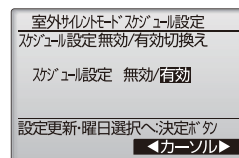


現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。
設定画面へ進むには [決定] ボタンを押します。



3



スケジュール設定無効 / 有効切換え画面が表示されます。

スケジュールを有効にする場合は、[F3][F4] ボタンで「有効」を選択し、[決定] ボタンを押します。





制限設定

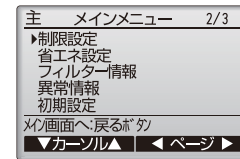
設定温度範囲制限の設定方法

機能説明

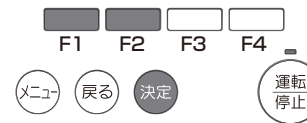
運転モードごとに、設定温度範囲の制限ができます。

操作方法

1



メインメニュー画面(22ページ参照)で「制限設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

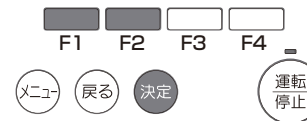


2



現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「設定温度範囲制限」を選択し [決定] ボタンを押します。

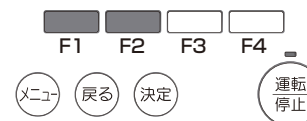


3

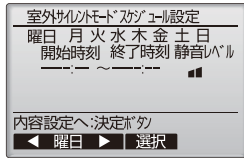


設定温度範囲制限設定画面が表示されます。

[F1] ボタンで「設定温度範囲制限」「冷房上下限值」「暖房上下限值」「自動上下限值」のうち、変更したい項目を選択します。



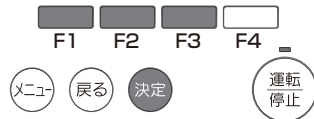
4



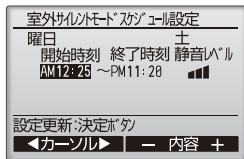
室外サイレントモード設定画面が表示されます。

内容設定を行う場合は、[F1][F2] ボタンで曜日を選択し、[F3] ボタンで設定する曜日を確認します。(曜日は複数選択できます。)

ご希望の曜日を選択した後、[決定] ボタンを押します。



5



内容設定画面が表示されます。
[F1][F2] ボタンで「開始時刻」「終了時刻」「静音レベル」を選択します。

[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切替えます。

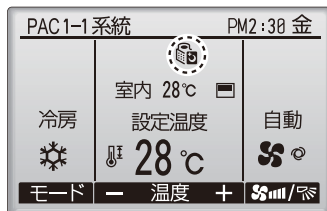
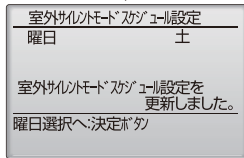
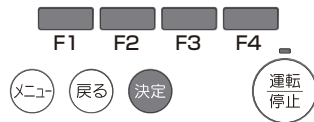
- 開始時刻 5分単位で設定
※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
- 終了時刻 5分単位で設定
※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
- 静音レベル 「標準」「中」「静」



ご希望の設定に切替えた後、[決定] ボタンを押します。設定確定画面が表示されます。

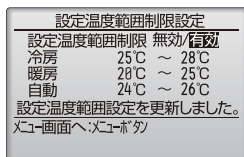
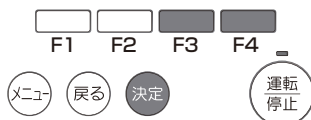
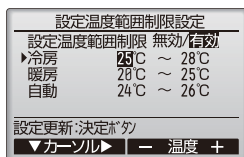
画面移動方法

- 設定更新・曜日選択画面に戻る…[決定] ボタン
- メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る…[戻る] ボタン



室外サイレントモード制御中の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

4



[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切替えます。

- 設定温度範囲制限 「無効」「有効」
- 冷房上下限值 (1℃単位)
- 暖房上下限值 (1℃単位)
- 自動上下限值 (1℃単位)

設定温度範囲制限の設定範囲

モード	下限値	上限値
冷房*1*3	14～30℃	30～14℃
暖房*2*3	14～28℃	28～14℃
自動*4	14～28℃	28～14℃

■ 上記は標準機種の設定範囲になります。設定範囲は接続されるユニット（標準、オールフレッシュなど）により異なります。

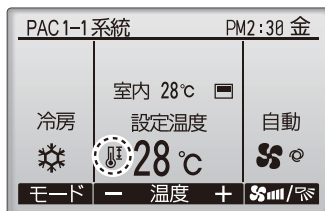
- ※1 冷房・デュアルオートモード〔冷房〕の設定温度を制限できます。
- ※2 暖房・デュアルオートモード〔暖房〕の設定温度を制限できます。
- ※3 冷房・デュアルオートモード〔冷房〕と暖房・デュアルオートモード〔暖房〕の設定は以下の条件で設定できます。(P.19 参照)
冷房上限設定－暖房上限設定≥最小温度差
冷房下限設定－暖房下限設定≥最小温度差
- ※4 自動モードの設定温度を制限できます。

ご希望の設定に切替えた後、**[決定]** ボタンを押します。
設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン
- 前の画面に戻る… **[戻る]** ボタン

設定温度範囲制限設定が有効の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

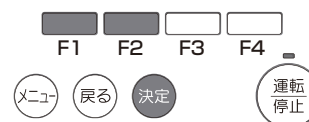
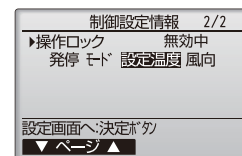


操作ロックの設定方法

操作をロックするときは
操作ロック設定を「有効」にしてください。

操作方法

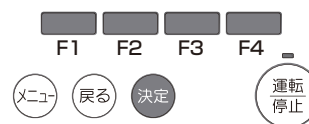
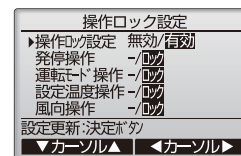
1



制限設定画面を表示します。
(32 ページ参照)

制限設定画面で「操作ロック」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

2



操作ロック設定画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「操作ロック設定」「発停操作」「運転モード操作」「設定温度操作」「風向操作」のうち、変更したい項目を選択します。

[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切替えます。

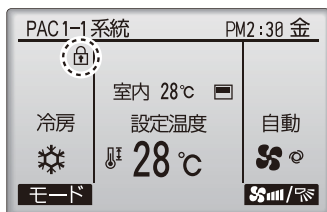
- 操作ロック設定 「無効」「有効」
- 発停操作 「-」「ロック」
- 運転モード操作 「-」「ロック」
- 設定温度操作 「-」「ロック」
- 風向操作 「-」「ロック」

ご希望の設定に切替えた後、**[決定]** ボタンを押します。


設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン
- 前の画面に戻る… **[戻る]** ボタン



(設定温度ロック時の画面例)

操作ロック設定が有効の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

操作ロックに対応する操作ガイドが表示されなくなります。

省エネ設定



設定温度自動復帰の設定方法

機能説明

設定時間後に設定した温度へ自動的に戻ります。

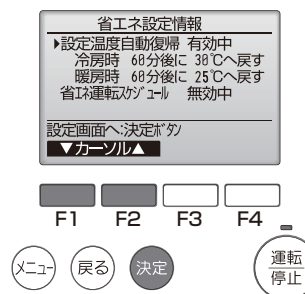
操作方法

1



メインメニュー画面(22ページ参照)で「省エネ設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

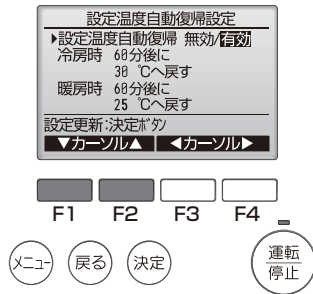
2



現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「設定温度自動復帰」を選択し、[決定] ボタンを押します。

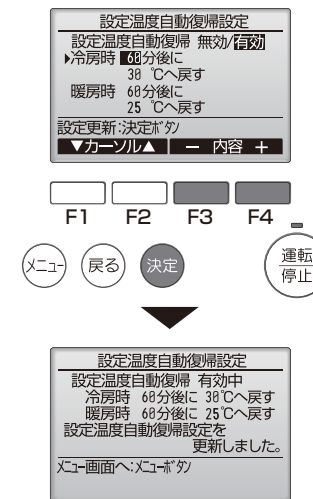
3



設定温度自動復帰設定画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「設定温度自動復帰」「冷房時」「暖房時」のうち、変更したい項目を選択します。

4



[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切替えます。

- 設定温自動復帰「無効」「有効」
- 冷房時
時間の設定範囲：30分～120分（10分単位）
温度の設定範囲：14～30℃（1℃単位）
- 暖房時
時間の設定範囲：30分～120分（10分単位）
温度の設定範囲：14～30℃（1℃単位）

※ 上記は標準機種の設定範囲になります。
設定範囲は接続されるユニット（標準、オールフレッシュ機種など）により異なります。
※ 「冷房時」は自動冷房、「暖房時」は自動暖房を含みます。

ご希望の設定に切替えた後、[決定] ボタンを押します。

設定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン

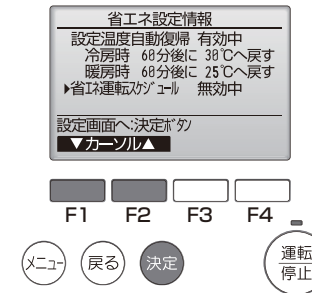
設定温度範囲制限が有効中および集中管理中（禁止中の項目が「タイマー機能、設定温度」の場合）は、本設定は実行されません。

本リモコンで運転モード、運転 / 停止操作を行うと設定時間に関係なく、設定温度が戻ります。

省エネ運転スケジュールの設定方法

操作方法

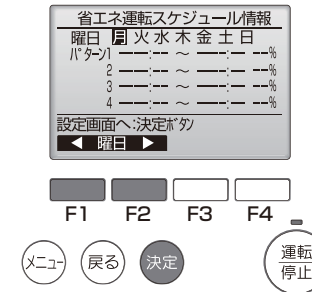
1



省エネ設定画面を表示します。
(34ページ参照)

省エネ設定画面で「省エネ運転スケジュール」を選択し、[決定] ボタンを押します。

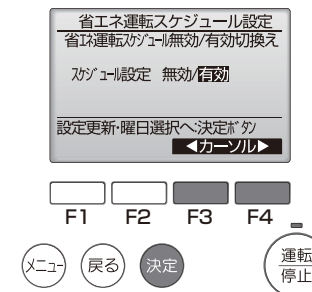
2



省エネ運転スケジュール画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。
設定画面へ進むには [決定] ボタンを押します。

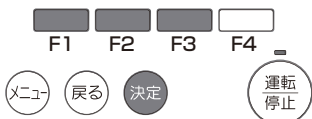
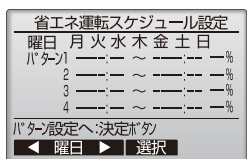
3



省エネ運転スケジュール無効 / 有効切換え画面が表示されます。

[F3][F4] ボタンで「無効」か「有効」を選択します。
設定更新・曜日選択画面へ進むには [決定] ボタンを押します。

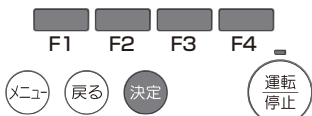
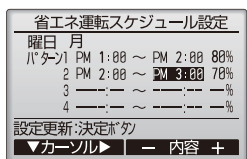
4



設定更新・曜日選択画面が表示されます。
1日4パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、**[F1][F2]** ボタンで曜日を選択し、**[F3]** ボタンで設定する曜日を確定します。(曜日は複数選択できます。)パターン設定画面へ進むには **[決定]** ボタンを押します。

5

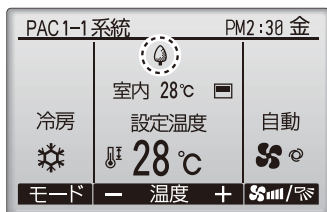
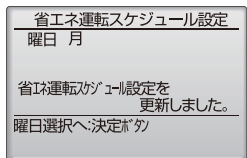


パターン設定画面が表示されます。
[F1] ボタンでパターンを選択します。
[F2] ボタンで左から「開始時刻」「終了時刻」「能力セーブ値」を選択します。
[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切替えます。
■開始時刻 5分単位で設定 ※
■終了時刻 5分単位で設定 ※
■能力セーブ値 設定範囲: 90 ~ 50%、0%
10% 単位で設定
※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

ご希望の設定に切替えた後、**[決定]** ボタンを押します。
設定確定画面が表示されます。

数値が低い程、省エネ効果が高くなります。

※ デマンド制御を他の機器と併用する場合はリモコンからの設定値通りに機能しない場合があります。



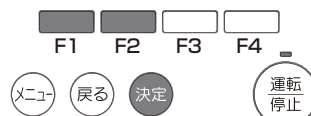
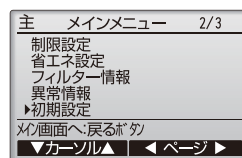
省エネ制御中は、詳細メイン画面に「」が表示されます。

画面移動方法
■設定更新・曜日選択画面に戻る…**[決定]** ボタン
■メインメニュー画面へ戻る…**[メニュー]** ボタン
■前の画面に戻る…**[戻る]** ボタン

メイン画面表示設定

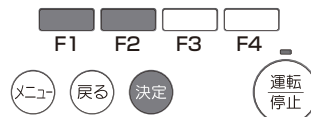
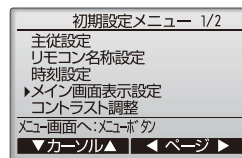
操作方法

1



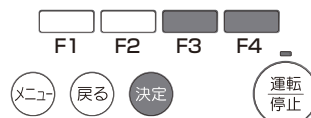
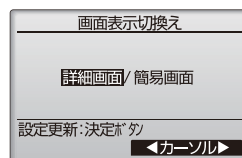
メインメニュー画面(22ページ参照)で「初期設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

2



[F1][F2] ボタンで、「メイン画面表示設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

3



[F3][F4] ボタンで「詳細画面」「簡易画面」(16ページ参照)のうちご希望の設定に切替えた後、**[決定]** ボタンを押します。

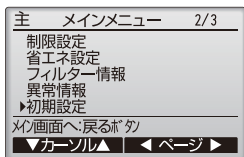
設定確定画面が表示されます。

画面移動方法
■メインメニュー画面へ戻る…**[メニュー]** ボタン
■前の画面に戻る…**[戻る]** ボタン

コントラスト調整

操作方法

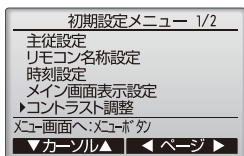
1



メインメニュー画面(22ページ参照)で「初期設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。



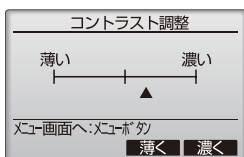
2



[F1][F2] ボタンで、「コントラスト調整」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。



3



[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切替えた後、**[メニュー]** または **[戻る]** ボタンを押します。



画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン
- 前の画面に戻る… **[戻る]** ボタン

機能選択



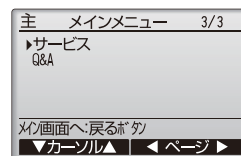
機能説明

リモコンから必要に応じ各室内ユニットの機能を設定します。

- 変更が必要な場合のみ設定してください。
- 室内ユニットの出荷設定内容・機能設定 No. ・機能設定値についてはユニットの据付工事説明書を参照してください。
- 機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全ての設定内容を紙に記録するなど、設定状態を管理してください。

操作方法

1

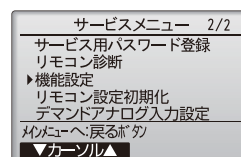


メインメニュー画面(22ページ参照)で「サービス」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。パスワード入力画面が表示されます。

現在設定されているサービス用のパスワード(4桁)を入力してください。パスワード入力後、**[決定]** ボタンを押してください。パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。



2



サービスメニュー画面で「機能選択」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。



機能設定一覧

機能設定 No.		機能設定値		
25◆	暖房サーモ OFF 時風量 暖房サーモ OFF 時の風量を設定します。停止を選択の場合は、別売サーモを使用してください。機能設定値を「1」に設定しても静風圧設定によっては風量が下がらない場合もあります。	1: 設定風量の50~85%風量		
		2: 停止		
		③: 設定風量		
27◆	冷房サーモ OFF 時風量 冷房サーモ OFF 時の風量を設定します。停止を選択の場合は、別売サーモを使用してください。機能設定値を「1」に設定しても静風圧設定によっては風量が下がらない場合もあります。	1: 設定風量の50~85%風量		
		2: 停止		
		③: 設定風量		
58	余熱排除時間 余熱排除の時間を設定します。	①: 1分		
		2: 2分		
		③: 3分5秒		
		4: 4分		
		5: 5分		
		6: 6分		
67	自動モード種 シングル(設定温度1値)、デュアル(設定温度2値)を設定します。	①: 1値		
		2: 2値		
71	余熱排除動作 実施モード 余熱排除を行うモードを設定します。	①: 暖房		
		2: 全モード		
72	設定温度差最小値 自動モード種においてデュアルオートモード選択時、冷房設定温度と暖房設定温度の最小差を設定します。	3: 1.5℃		
		④: 2.0℃		
		5: 2.5℃		
		6: 3.0℃		
		7: 3.5℃		
		8: 4.0℃		
		9: 4.5℃		
		80	運転停止個別パルス入力有効切り替え 運転停止パルス入力の入力方法(1パルス/2パルス)を設定します。	①: 通常設定(個別無効)
				2: 個別有効
82	4段階デマンド切替 2段階デマンド/4段階デマンドを設定します。	①: 2段階デマンド		
		2: 4段階デマンド		
89	ホットアジャスト時 室内送風機動作 ホットアジャスト時の室内送風機の動作を設定します。	2: 冷風感防止設定		
		③: 循環風量確保設定		
		4: 冷風感防止・風量確保兼用設定		
		①: 不可		
94	室外機停電時設定(BCP設定) 室外機停電時の室内送風機の動作を設定します。	2: 送風運転可能		
		①: 暖房と冷房		
98	遠方出力(暖房/冷房)設定 遠方出力での「暖房」出力を「油回収中」へ変更します。	2: 油回収中と冷房		
		①: 無し		
99	冷房加湿設定 冷房時の加湿器出力有無を設定します。	2: 有り		
		— 据付工事説明書参照		
100◆	静風圧設定設定変更用パラメータ 静風圧設定を変更する場合は据付工事説明書を参照ください。	— 据付工事説明書参照		
		— 据付工事説明書参照		
101◆	静風圧設定設定変更用パラメータ 静風圧設定を変更する場合は据付工事説明書を参照ください。	— 据付工事説明書参照		
		①: 無効		
114	風速自動モード(標準タイプP224~560のみ) 風速自動モードの無効/有効を設定します。	2: 有効		
		1: 全項目クリア実施		
255	全項目クリア	1: 全項目クリア実施		

※ 表中の○は出荷時の設定を表わします。

※ 表中の◆がある機能設定は、No.1基板(若い方のアドレス)以外の設定は不要です。

■設定値の初期化方法

機能項目別初期化	前記設定手順に従い、初期化対象の室内機のアドレス、機能設定 No. を選択し、「機能設定値」を「15」に設定します。
全項目初期化	前記設定手順に従い、初期化対象の室内機のアドレスを選択し、機能設定 No. を「255」、「機能設定値」を「1」に設定します。全ての項目に対して、設定値を初期化します。

機能選択画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで室内ユニットの「M-NET アドレス」、「機能設定 No.」、「機能設定値」を選択し、[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。

設定情報送信画面が表示されます。

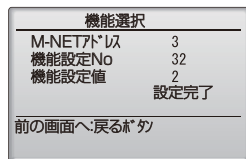
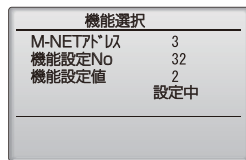
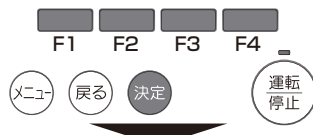
現在の設定値を確認する場合は、確認したい室内ユニットの「M-NET アドレス」、「機能設定 No.」を設定し、「実行内容選択」で「確認」を選択し、[決定] ボタンを押します。確認中画面が表示され、確認が完了すると機能設定値が表示されます。

送信が完了すると設定完了画面が表示されます。

続けて設定を行う場合、[戻る] ボタンを押すと3の画面に戻ります。同様の手順で他の室内ユニット、機能設定 No. の設定を行います。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン



※1 室内ユニット内に複数制御基板のある機種は、全ての制御基板の設定を1~4の操作により同一設定にしてください。ただし、一部の機能設定ではNo.1基板(若い方のアドレス)以外の設定は不要です。(右の表参照)

※2 室内制御基板をサービス交換した場合、再設定が必要です。室内制御基板を交換したときは、必ず1~4の操作により設定してください。その際、交換前の設定値が必要となるため、設定値を以下の表に記入しておいてください。

アドレス	機能設定No.	機能設定値

アドレス	機能設定No.	機能設定値

3

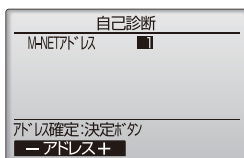
4

自己診断

(1) 異常履歴の検索 リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

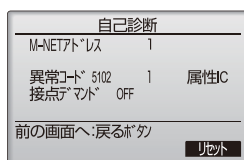
操作方法

1



サービスメニューにて「自己診断」を選択する。

2



【決定】ボタンを押す。
自己診断画面を表示します。

3

[F1][F2]ボタンにて M-NET アドレスを設定する。

4

【決定】ボタンを押す。
異常コード・属性・室内ユニットの接点デマンドON/OFF状態が表示されます。
異常履歴が無い場合は、「-」が表示されます。

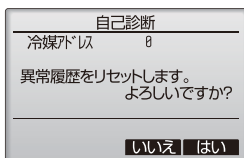
(2) 異常履歴のリセット

操作方法

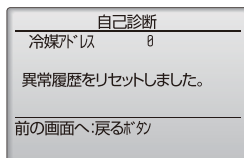
1

異常履歴表示中に[F4] (リセット) ボタンを押す。
確認画面が表示されます。

2



確認画面にて[F4] (はい) ボタンを押す。
室内ユニットの異常履歴を消去します。消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」
ユニットから応答が無い場合は「対象室内ユニットが存在しません。」を表示します。



サービス用パスワード登録

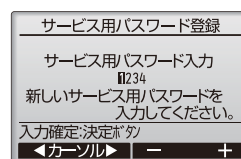
サービスメニューの操作をおこなうためのパスワードを変更します。

操作方法

1

サービスメニューにて「サービス用パスワード登録」を選択する。

2



【決定】ボタンを押す。
新規パスワード登録画面を表示します。

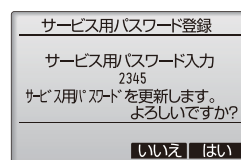
3

[F1][F2]ボタンで桁を選択する。

4

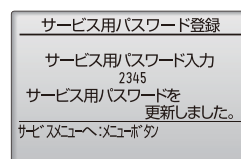
[F3][F4]ボタンにて 0～9 の数字を設定する。

5



4桁のパスワードを入力後、【決定】ボタンを押す。

6



パスワード更新確認画面が表示されます。
更新する場合は[F4] (はい) ボタンを押す。
取り消す場合は[F3] (いいえ) ボタンを押す。
パスワード更新の場合は、更新完了画面が表示されます。

7

【メニュー】ボタンにてサービスメニューへまたは【戻る】ボタンで「サービス用パスワード登録画面」に戻る。

リモコン設定初期化

本リモコンの取扱説明書を参照ください。

リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能によりリモコン診断を行ってください。
リモコン表示の有無を確認してください。（罫線含む）

(1) リモコン表示が無い場合

リモコンに正常な電圧(DC8.5 ~ 12V)が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。
この場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。

(2) リモコン表示がある場合

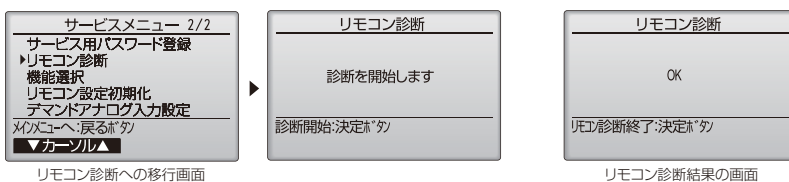
操作方法

1 サービスメニューにて「リモコン診断」を選択する。

2 **[決定]** ボタンを押す。
リモコン診断を開始し、結果を表示します。

3 リモコン診断を行わない時は、**[メニュー]** または**[戻る]** ボタンを押す。
リモコン診断メニューから抜けることができます。この時、リモコンは再立上げを行いません。

4 リモコン診断結果表示後、**[決定]** ボタンを押す。
リモコン診断を終了し、自動的に再立上げが行われます。



- OK : リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。
- 6832 : 伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。
- NG(ALL0、ALL1) : リモコン送受信回路不良です。リモコンの交換が必要です。
- ERC(データエラー数): データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

リモコン設定初期化

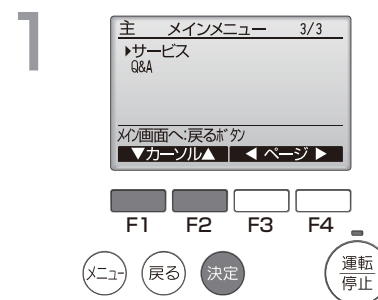
P

機能説明

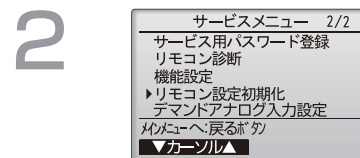
リモコンを初期化して、工場出荷状態に戻すことができます。
下記のデータが初期化されます。
リモコンが初期化されると、自動的に再立ち上げをおこないます。

タイマー設定/週間スケジュール設定/室外サイレントモード設定/省エネ設定/主従設定/リモコン名称/時刻設定/メイン画面表示設定/コントラスト設定/リモコン表示設定/自動モード設定/形名登録/製造 No. 登録/販売店・サービス店登録/異常情報/管理者用パスワード/サービス用パスワード

操作方法

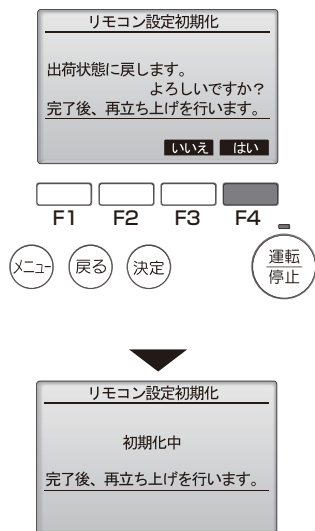


メインメニュー画面(22ページ参照)で「サービス」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。
パスワード入力画面が表示されます。
現在設定されているサービス用のパスワード(4桁)を入力してください。パスワード入力後、**[決定]** ボタンを押してください。パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。



サービスメニュー画面で、「リモコン設定初期化」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

3



[F4] ボタンで「はい」を選択します。

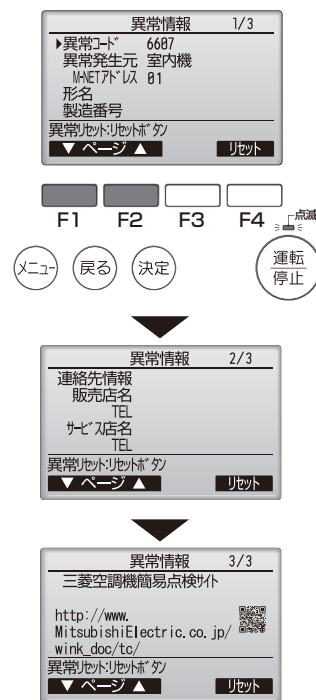
初期化を実行後、自動的に再立ち上げを行います。

異常情報

異常が発生した場合、以下の異常画面が表示されます。
異常内容を確認の上、運転を停止しお買上げの販売店にご連絡ください。

操作方法

1



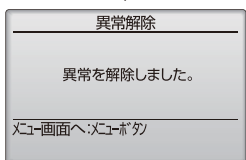
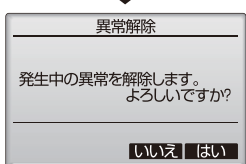
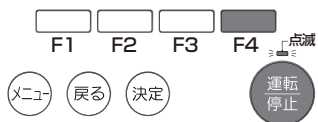
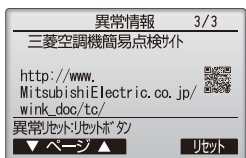
異常コード、異常発生元、M-NET アドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ手入力されている場合に表示されます。

[F1][F2] ボタンで次のページを表示します。

連絡先情報（販売店名、販売店の電話番号、サービス店名、サービス店の電話番号）が表示されます。
あらかじめ手入力されている場合に表示されません。

携帯電話点検コード検索サービスサイトのアクセス先が表示されます。

2



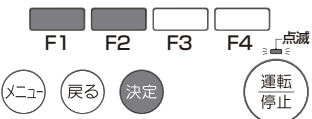
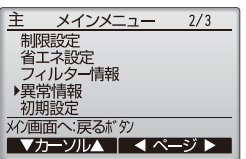
発生中の異常を解除する場合は [F4] ボタンまたは [運転/停止] ボタンを押します。

運転 / 停止操作禁止中は異常解除できません。

[F4] ボタンを押すと異常をリセットします。

画面移動方法
 ■メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン

情報確認



異常が発生していない時、メインメニュー画面(22ページ参照)で「異常情報」を選択すると、異常情報画面の2/3、3/3ページの内容(41ページ参照)を確認することができます。異常リセットはできません。

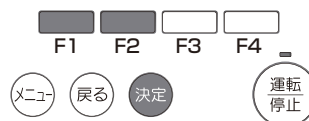
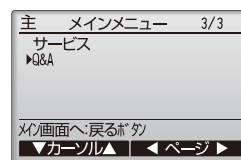
Q&A

下記のような Q&A を見ることができます。

- 代表的なトラブルシューティング
- 通常画面に表示されるアイコンの意味

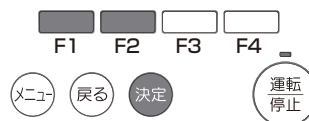
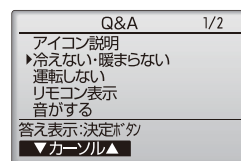
操作方法

1

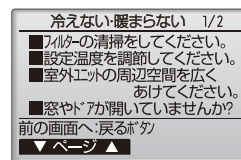


メインメニュー画面(22ページ参照)で「Q&A」を選択し、[決定] ボタンを押します。

2



[F1][F2] ボタンにて状況を選択し [決定] ボタンを押します。

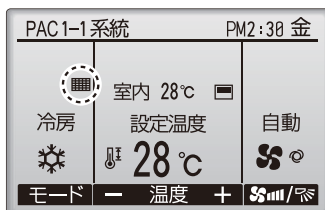



選択した状況に対する、対応方法が表示されます。項目により複数のページがある場合は、[F1][F2] ボタンでページを切替えます。

画面移動方法
 ■メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
 ■前の画面に戻る… [戻る] ボタン

お手入れ

フィルター情報・フィルターサイン解除

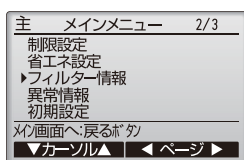


フィルターのお手入れ時期になると、詳細メイン画面に「」が表示されます。

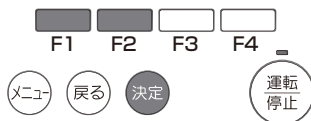
フィルターの洗浄・清掃・交換を行ってください。
詳しくは室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。
※フィルターサインは出荷時設定は表示無しになっております。設定を変更する場合は、室内基板のDipSWの変更が必要です。詳細は、サービスハンドブックを参照ください。

操作方法

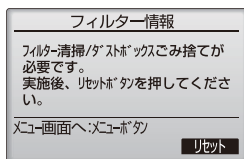
1



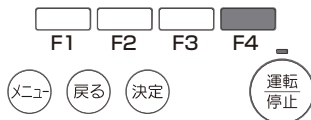
メインメニュー画面(22ページ参照)で「フィルター情報」を選択し、[決定] ボタンを押します。



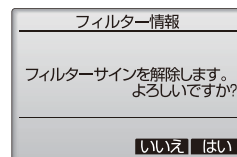
2



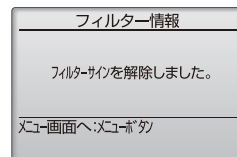
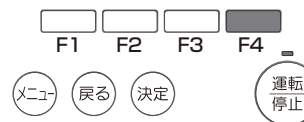
フィルター情報をリセットする場合は [F4] ボタンを押します。
フィルター清掃のしかた、ダストボックスごみ捨てのしかたについては室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。



3



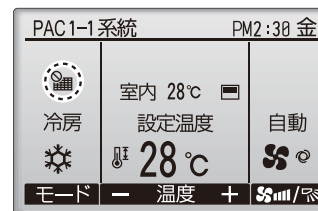
[F4] ボタンで「はい」を選択します。





設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

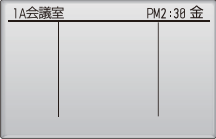

- メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る…[戻る] ボタン



詳細メイン画面に「」が表示されるときは、集中管理中のためフィルターサインを解除することはできません。

- 2 台以上の室内ユニットが接続されている場合、フィルターの種類によって清掃時期が異なる場合があります。
- 「」表示は、代表機種（親機）の清掃時期に表示されますので、フィルターサインの解除を行うと全ての積算時間がリセットされます。
- 「」表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
- フィルター清掃時期の積算時間は、機種により異なります。

「故障かな？」と思ったら

No.	現象	原因の確認	対処方法
1	リモコンの表示部に下図が表示しない。 	電源が入っているか確認してください。	電源を入れてください。表示部に下図が表示されます。 
2	[運転/停止] ボタンを押したのに運転しない。点灯したリモコンの運転表示が消える。	電源が入っているか確認してください。	電源を入れてください。
3	リモコン表示部に "集中管理中" の表示がでる。	他のコントローラまたは室内ユニットから操作が禁止されていないか確認してください。	"集中管理中" の表示点灯中はリモコンでの操作が禁止となっています。
4	[運転/停止] ボタンを押さないのに動きだした。(または停止した。)	タイマーをリモコンで設定していないか確認してください。 他のコントローラまたは室内ユニットから操作されていないか確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。 遠方コントロールが接続されていないか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 "集中管理中" の表示が点灯していませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 停電自動復帰を設定していませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。
5	リモコンのタイマー運転がセットできない。	リモコン設定を確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> タイマー設定が無効になっていませんか？ タイマー設定がセット可能なときは、簡易タイマー、消忘れ防止タイマーのどちらかが表示されています。
6	リモコンに "PLEASE WAIT" の表示がでる。	電源投入直後か確認をしてください。	初期設定 (約 2 分) を行っているためです。

No.	現象	原因の確認	対処方法
7	リモコンにエラーコードが表示される。	保護機能が作動しているか確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> 保護機能が作動してエアコンを保護しています。 ※ 自分では絶対に修理しないでください。 室内ユニットの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店、またはメーカー指定のお客様相談窓口 (別添) にご連絡ください。

5-2. その他の操作について

5-2-1. 長期間使用しないとき

[1] 運転停止の方法

手順

1. 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。
2. 室内・室外ユニットの電源を切る。

[2] 再度使い始めるとき

下記手順1～4の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

- ・ エアコンの電源を「入」にしてから12時間以上経過後、運転を開始してください。

手順

1. フィルターを清掃して、取付ける。
2. 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。
3. アース線が外れていないことを確認する。
室内ユニットにも取付けてある場合があります。

お願い

- ・ 再度アース工事を行う場合は販売店（工事店・サービス店）に相談してください。
4. ドレンホースの折曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどが無いことを確認する。
 5. 運転開始の12時間以上前からエアコンの電源を「入」にする。

5-2-2. データモニタリング機能

- ・ 作業の手間を大幅に削減します。
- ・ 室内に居ながら室外・内ユニットの運転データをリモコンで確認可能です。

メンテナンス情報

圧縮機	積算運転時間 ※3
	ON-OFF回数 ※2
	運転電流
室外ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	外気温度
	吐出圧力【高圧】
	吸入圧力【低圧】※5
	吐出温度
	高圧圧力飽和温度 ※5
SC液側温度 ※4	

室内ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	吸込温度 ※1
	フィルター使用時間
	FAN運転時間 ※3

※1 オールフレッシュタイプの「吹出温度制御」時は、「吹出温度」を検知し表示します。
(表示項目は「吸込温度」のまま表示されます。)

※2 圧縮機 ON-OFF回数は 100 回単位でデータ更新します。

例：実際の圧縮機 ON-OFF 回数が 99 回の場合、リモコン表示は 0 回となり、101 回の場合、リモコン表示は 100 回となります。

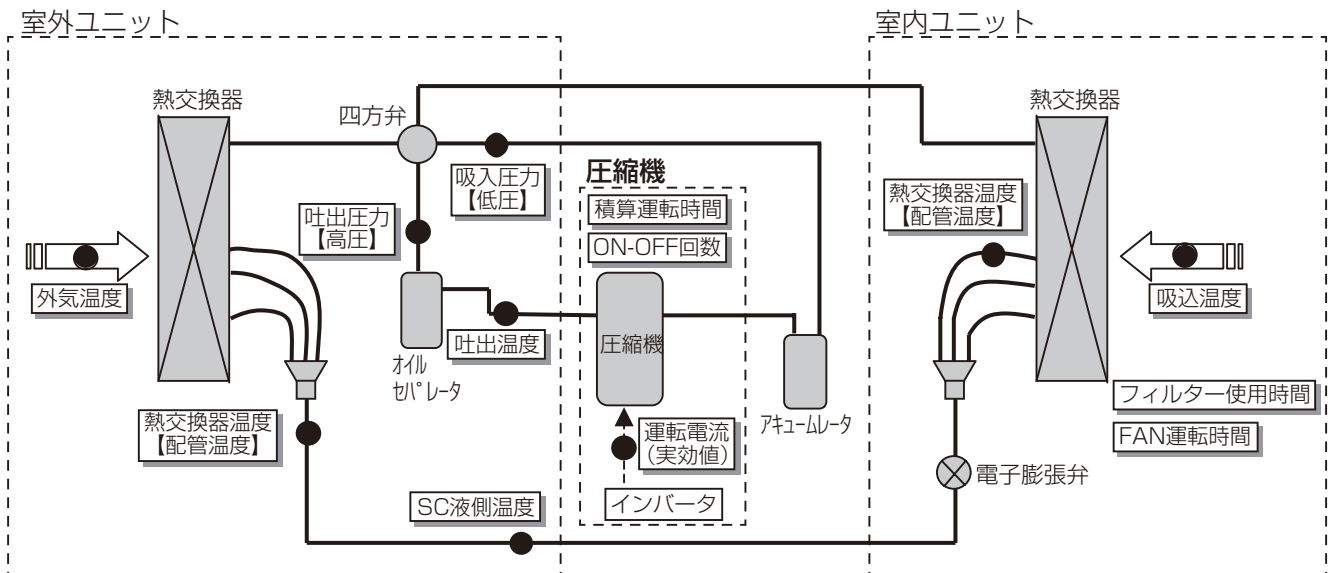
※3 圧縮機積算時間、FAN 運転時間は、10 時間単位でデータ更新します。

例：実際の運転時間が 9 時間の場合リモコン表示は 0 時間となり、11 時間の場合リモコン表示は 10 時間となります。

※4 (V)DMJ1 タイプの機種では、SC 液側温度サーミスターがないため、SC 液側温度は「未対応」と表示されます。

※5 室外ユニットが P80・140 形では、吸入圧力 [低圧]・高圧圧力飽和温度は「未対応」と表示されます。

メンテナンス情報イメージ



運転時間積算を利用するとき

- 端数の取扱い
 通電が停止するとカウントされる前の端数 (FAN 運転時間は 1～9 時間、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1～59 分) は 0 に戻ります。
 運転時間積算を利用するときは、通電したままにしてください。
 なお、通電が停止してもすでにカウントされた積算時間 (FAN 運転時間は 10 時間単位以上、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1 時間単位以上) は保持されます。
- フィルター使用時間
 “フィルター清掃” 表示設定時は MA リモコン操作により使用時間がリセットできます。
 非表示設定時はリセットできません。

5-2-3. メンテナンスモード操作

データモニタリング機能を使用する時は室外・室内ユニットのパネルを外さないでください。

[1] メンテナンスモードへの切換えについて

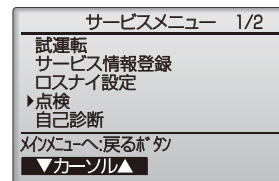
メンテナンスモードには、運転中にのみ切換えしてください。

- ユニット停止中・点検中はメンテナンスモードへ切換えしないでください。
- 試運転中は入れません。
- リモコン従設定の場合は、メンテナンスモードには入れません。
- 集中管理中はメンテナンスモードには入れません。

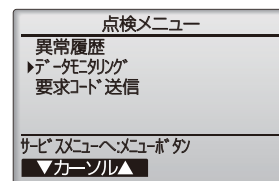
[2] 操作方法

手順

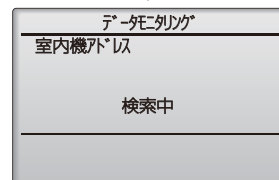
1. サービスメニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「点検」を選択し、[決定] ボタンを押す。
 点検メニューが表示します。



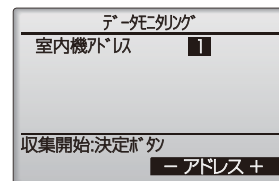
2. [F1][F2] ボタンを操作して「データモニタリング」を選択し、[決定] ボタンを押す。



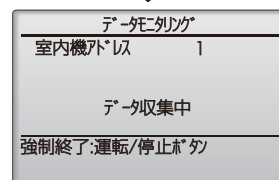
データモニタリング画面に移行し、MA リモコンに接続された室内ユニット (制御基板) の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。



3. [F3][F4] ボタンを操作して室内ユニット (制御基板) アドレスを選定し、[決定] ボタンを押す。

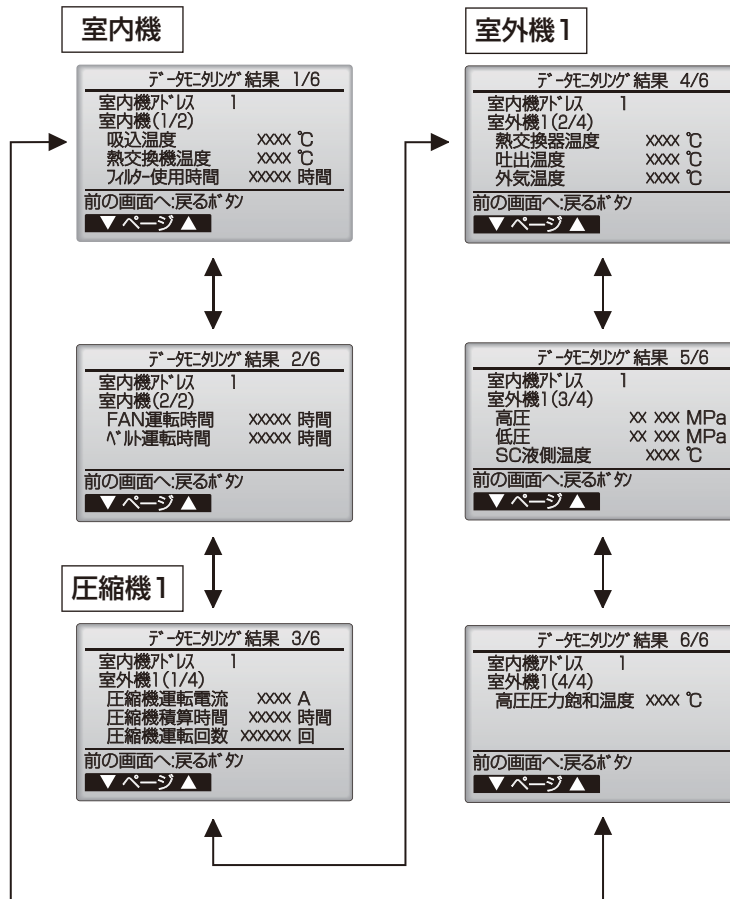


データの収集が開始され、約 5 分後データ収集が完了します。収集されるデータは、手順 3 で選択したアドレスの室内ユニット (制御基板) 情報およびこの室内ユニットと同一冷媒系に接続された室外ユニットの情報になります。



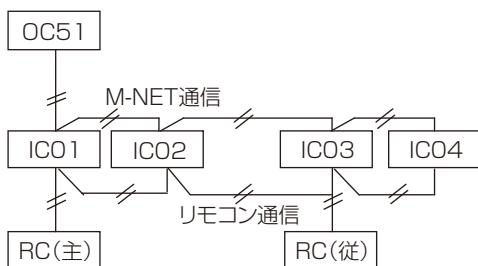
4. [F1][F2] ボタンを操作して、各ユニットの情報を表示する。

- [F1][F2] ボタン操作により画面が遷移します。
- 圧縮機の運転電流はインバータから圧縮機への電流の実効値になります。
- 室外ユニットが (V)DMJ1 タイプの機種では、SC 液側温度サーミスターがないため、SC 液側温度は「未対応」と表示されます。



5. データモニタリングを解除する場合は、[メニュー] または [戻る] ボタンを押す。

操作例



室外ユニット、圧縮機のデータをモニタリングする場合、必ず各室外ユニットに接続されている (M-NET 通信線) 室内ユニットアドレスを選定してください。

上記システムの室外ユニット (OC51) の情報をモニターする場合

- 室内ユニットアドレス **01** を設定します。

モニターする各ユニットの表示は下記となります。

- 室内機 = IC01
- 室外機 1 = OC51
- 圧縮機 1 = OC51

• 室内ユニットアドレス **04** 設定時。
モニターする各ユニットの表示は下記となります。

- 室内機 = IC04
- 室外機 1 = OC51
- 圧縮機 1 = OC51

[3] データを個別にモニタしたい場合

手順

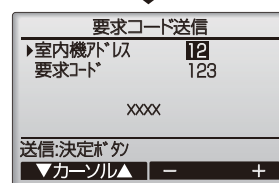
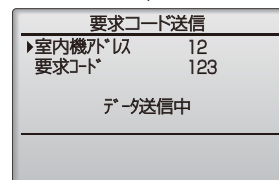
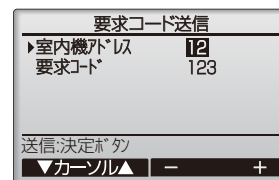
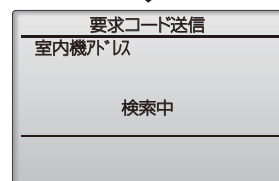
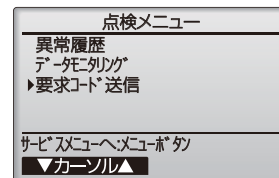
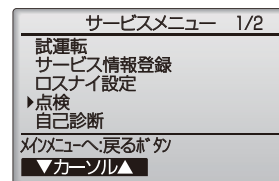
1. サービスメニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「点検」を選択し、[決定] ボタンを押す。
点検メニューが表示します。
2. [F1][F2] ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、[決定] ボタンを押す。

要求コード送信画面に遷移し、MA リモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

3. [F1][F2][F3][F4] ボタンを操作し、下表からモニタしたいユニット情報の項目の要求コードを設定し、[決定] ボタンを押す。

データモニタ先	モニタ項目	要求コード	表示単位
圧縮機 1	運転電流	1	A
	積算運転時間	2	hr
	ON-OFF 回数	3	回
室外機 1	吐出温度	4	℃
	外気温度	9	℃
	吐出圧力【高圧】	50	MPa
	吸込圧力【低圧】	51	MPa
	熱交換器温度【配管温度】	52	℃
室内機	ファン回転数（指令値）	147	rpm

データの収集が始まり、約 10～20 秒後にモニタしたデータが表示されます。



[4] ファン運転時間をリセットする場合

手順

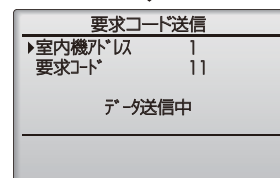
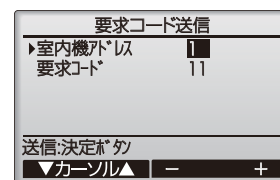
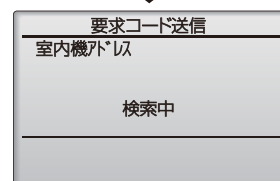
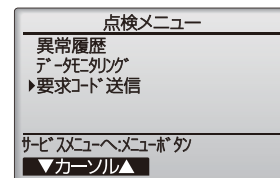
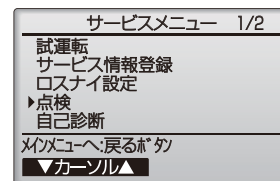
1. サービスメニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「点検」を選択し、[決定] ボタンを押す。
点検メニューが表示します。
2. [F1][F2] ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、[決定] ボタンを押す。

要求コード送信画面に遷移し、MA リモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

3. [F1][F2][F3][F4] ボタンを操作し、リセットしたい室内ユニット（制御基板）のアドレス、および下表からリセットしたい情報の要求コードを設定し、[決定] ボタンを押す。

データモニタ先	設定項目	要求コード	表示単位
室内機	FAN モーター運転時間リセット	11	—

データがリセットされます。



6. お手入れ

警告

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- 回転機器により、けがのおそれあり。



フィルター・熱交換器・ヒーターは定期的に点検・清掃すること。

- 電気ヒーターを組んでいる場合、ほこり・ゴミの付着による発煙・発火のおそれあり。



注意

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。



作業する場合は保護具を身に付けること。

- けがのおそれあり。



フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ほこりが目に入り、けがのおそれあり。



フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- けがのおそれあり。



- 安全のためにお手入れの前には必ず電源を「切」にしてから行ってください。
室内ユニット電源「切」にした後、室外ユニット電源を「切」にしてください。

[1] エアフィルターの清掃

エアフィルターにゴミがたまると、冷暖房能力の低下や故障の原因になります。

お願い

- エアフィルターを外した状態で運転しないでください。
ユニット内部にゴミが詰まり、故障するおそれがあります。

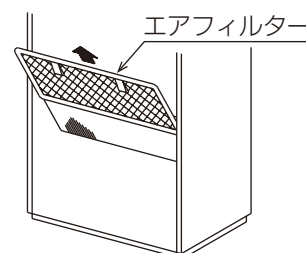
(1) フィルター取外し方法

■ PFAV-P80・140・224・280形, PFAV-P167・265・335-F形

手順

1. 吸込パネル上部のねじ(2カ所)を外し、吸込パネルを手前に引いて開ける。
2. 右図に従ってフィルターを取外す。

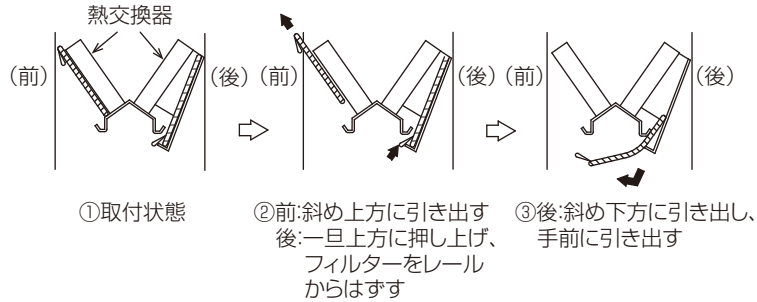
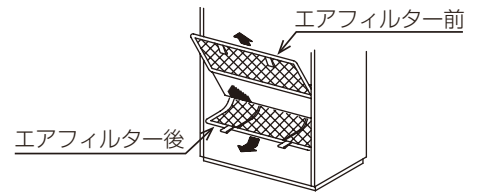
※ 吸込パネルを開けた際、板金エッジ部、電子式リニア膨張弁コイル、温度センサー部、リモコンコネクター部に手が触れないようにしてください。



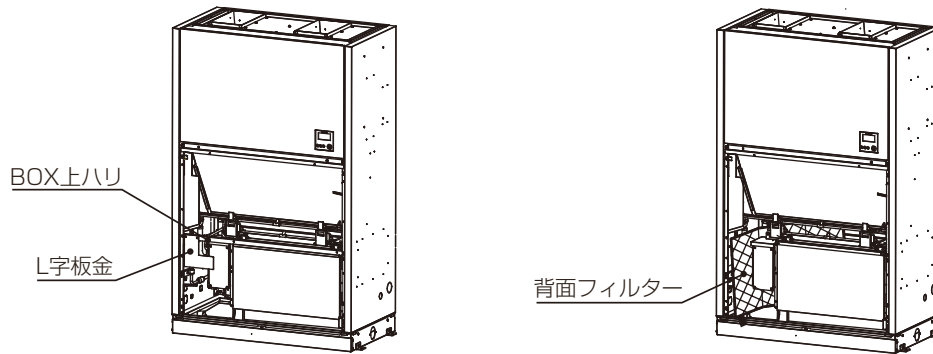
■ PFAV-P450・560形, PFAV-P530・670-F形

手順

1. 本体下側の吸込パネルのツマミねじ(2カ所)を外し、吸込パネルを手前に引いて開ける。
 2. 右図に従ってフィルターを取外す。
- ※ エアフィルター後は、背面からでも取外し可能です。
- ※ 吸込パネルを開けた際、板金エッジ部、電子式リニア膨張弁コイル、温度センサー部、リモコンコネクター部に手が触れないようにしてください。



- ※ ウォーター加湿器組込の場合、BOX上ハリとL字板金を取外し、背面フィルターを正面左側のスペースから奥まで入れた後、フィルターレールに引掛けてフィルターを取付ける。

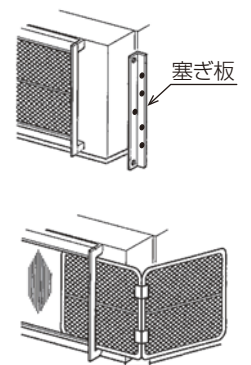


■ PFAV-P670・800・1120形, PFAV-P1000・1250-F形, PFAV-P1400・1600・1600-F形

吸込フランジの内側に取付けられています。左右どちらからでも取出すことができます。

手順

1. 吸込フランジの横側上下についているねじ(7カ所)を取外し、塞ぎ板を取外します。
2. 吸込フランジの中に入っているフィルターを横へ引き出します。
フィルターは、
 - ・ PFAV-P670・800・1120形, PFAV-P1000・1250-F形の場合 2分割
 - ・ PFAV-P1400・1600形, PFAV-P1600-F形の場合 3分割



(2) フィルターの洗浄

フィルターは定期的に洗浄してください。

(使用環境にもよりますが、1回/週～月が目安です。)

※ 定期メンテナンスをおこたるとフィルターが目詰まりし、通過面が変形します。

また洗浄時もフィルターを押さえている網を変形させないでください。

取外したフィルターのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いしてください。

汚れがひどい場合は、ぬるま湯もしくは中性洗剤を混ぜた水に浸け、汚れを落としてください。

すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。

水洗いしたときは日陰でよく乾かしてください。

(直射日光や直接火に当てて乾かさないでください。変形・変色することがあります。)

アフターサービス契約のおすすめ

※ 当社指定のサービス会社と保守契約(有料)いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行うことができます。

[2] パネルの清掃

中性洗剤を柔らかな布にふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないよう拭き取ります。



お願い

- ・ ベンジン・シンナーの使用は避けてください。



[3] 熱交換器の洗浄

長期間エアコンを使用しますと、エアコンの熱交換器の場合にはホコリなどが付着し、熱交換が悪くなって冷房能力が低下します。

電気ヒーターを組んでいる場合、ほこり・ゴミの付着による故障のおそれがあるため、定期的に点検・清掃をしてください。

点検・清掃についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

[4] ユニット内部品のお手入れ

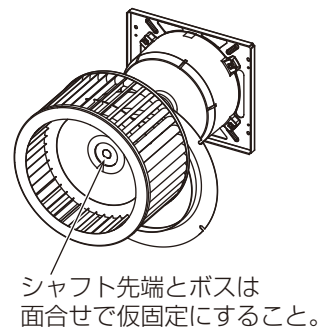
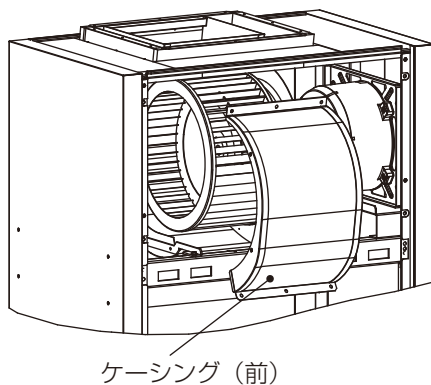
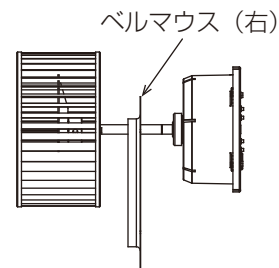
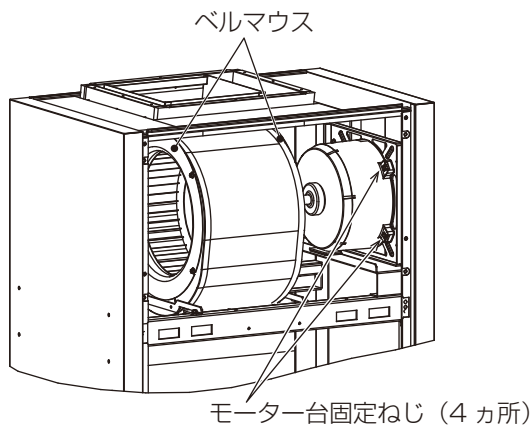
加湿器を組込んでご使用される場合、水質や使用条件によってはユニット内部の金属製部品が錆びることがありますので、加湿シーズン前後に確認し、錆がある場合はお買い上げの販売店もしくは保守点検契約を結んでいるサービス会社にご相談ください。

[5] モーターの交換

■ PFAV-P80・140・224・280形, PFAV-P167・265・335-F形

手順

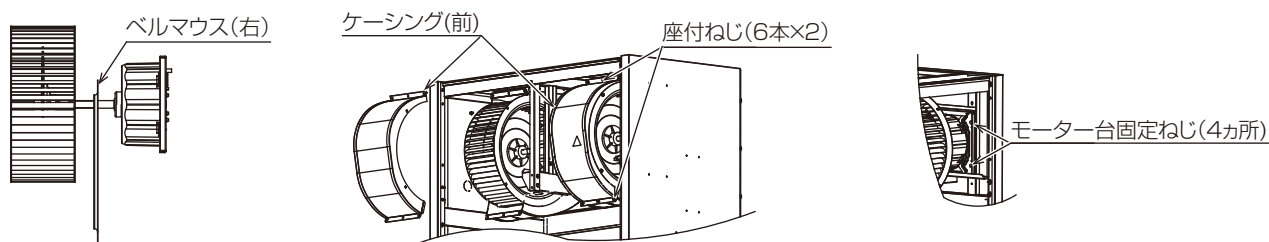
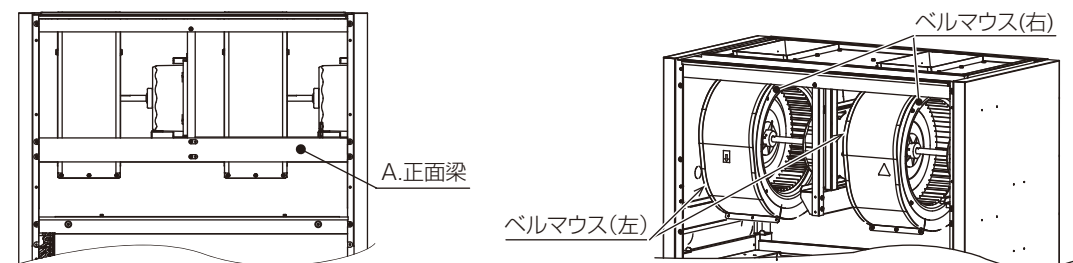
1. 前下パネルを取外す。(ツマミねじ：2本)
2. リモコンの中継コネクタを外し、前上パネルを取外す。(座付ねじ：2本)
3. ベルマウス(左・右)を取外す。(座付ねじ：各4本)
ベルマウス(右)は、モーターシャフトにぶら下がった状態にする。
ケーシング(前)を取外す。(座付ねじ：6本)
4. 制御箱のフタを取外す。(P80・140・167形 座付ねじ：6本、P224・280・265・335形 座付ねじ：8本)
5. 制御箱内部の中継コネクタを外し(2個)、モーター配線を熱交換器の上まで引上げる。
6. モーター台固定ねじを取外す。(座付ねじ：4本)
7. モーターとシロッコファンをユニットから取外す。
8. モーターからシロッコファンを取外し、モーターを交換した後、ベルマウス(右)、ファンを取付ける。
※ モーターシャフト先端とボスは面合わせで仮固定してください。(セットねじ：2本)
セットねじの締付トルク P80・140・167形：15N・m, P224・280・265・335形：27N・m
※ モーターからシロッコファンが取外せない場合はモーターシャフトとシロッコファン間の防錆材をリムーバー(推奨品:大日本塗料株式会社 COSMOREX #1000)を用いて落としてください。
9. 組立てたモーターセットをユニットに取付けた後、シロッコファンとベルマウスの隙間は左右均等の位置で固定する。
10. モーターシャフトとシロッコファンを固定した後、防錆材(推奨品:大日本塗料株式会社 COSMOREX #2000)をぬってください。
11. 取外した部品をそれぞれ元通りに取付ける。



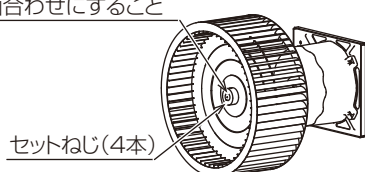
■ PFAV-P450・560形, PFAV-P530・670-F形

手順

1. 前下パネル (P450・560形：9.5kg、P530・670形：11.5kg) を取外す。(ツマミねじ：2本)
2. リモコンの中継コネクタを外し、前上パネル (8.5kg) を取外す。(座付ねじ：2本)
3. 正面梁 (2kg) を取外す。(座付ねじ：6本)
4. ベルマウス (左・右:各0.6kg) を取外す。(座付ねじ：4本×4 [P450・560形]、4本×2 [P530・670形])
ベルマウス (右) はモーターシャフトに引っ掛かった状態にします。
5. 左右のケーシング前 (1.5kg) を取外す。(座付ねじ：6本×2 [P450・560形]、6本 [P530・670形])
6. 制御箱のフタ (2.5kg) を取外す。(座付ねじ：6本)
7. 制御箱内部の中継コネクタを外し、モーター配線を熱交換器の上まで引き上げる。
8. モーター台固定ねじを外す。(座付ねじ：4本×2 [P450・560形]、4本 [P530・670形])
9. モーター (14kg) とシロッコファン (8kg) をユニットから取外す。
※ シャフトに引っ掛かっているベルマウスが干渉しないように作業してください。
10. モーターからシロッコファンを取外しモーターを交換した後、ベルマウス (右)、ファンを取付ける。
※ モーターシャフトのDカット2カ所とファンセットねじ2カ所を合わせ仮止めしてください。(セットねじ：4本)
モーターシャフト先端とボスは面合わせにしてください。
※ モーターからシロッコファンが取外せない場合はモーターシャフトとシロッコファン間の防錆材をリムーバー (推奨品:大日本塗料株式会社 COSMOREX #1000) を用いて落としてください。
11. 組立てたモーターセット (22kg) をユニットに取付ける。
12. 取外した部品をそれぞれ元通りに取付ける。
13. ケーシングとファンの両側のクリアランスが均等になる位置でファンのセットねじを締める。
※ セットねじの締付トルク 10N・m
14. モーターシャフトとシロッコファンを固定した後、防錆材 (推奨品:大日本塗料株式会社 COSMOREX #2000) をぬってください。



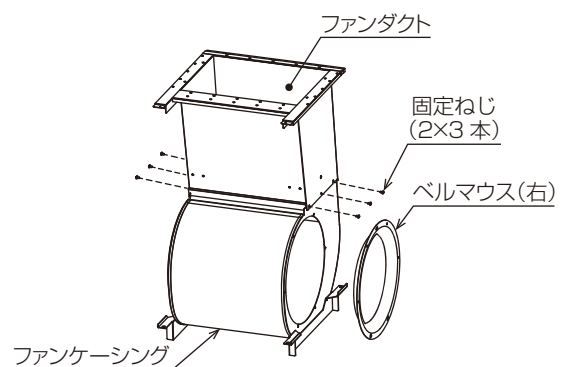
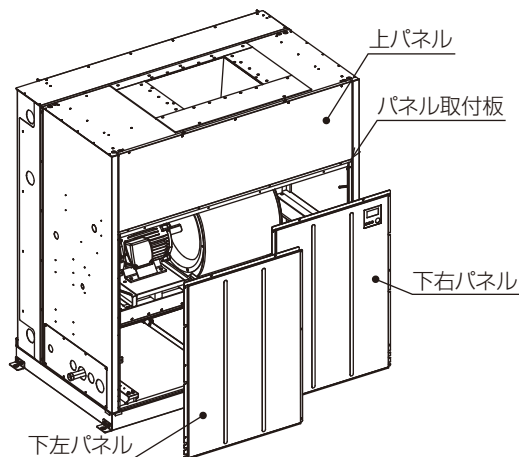
シャフト先端とボスは
面合わせにすること

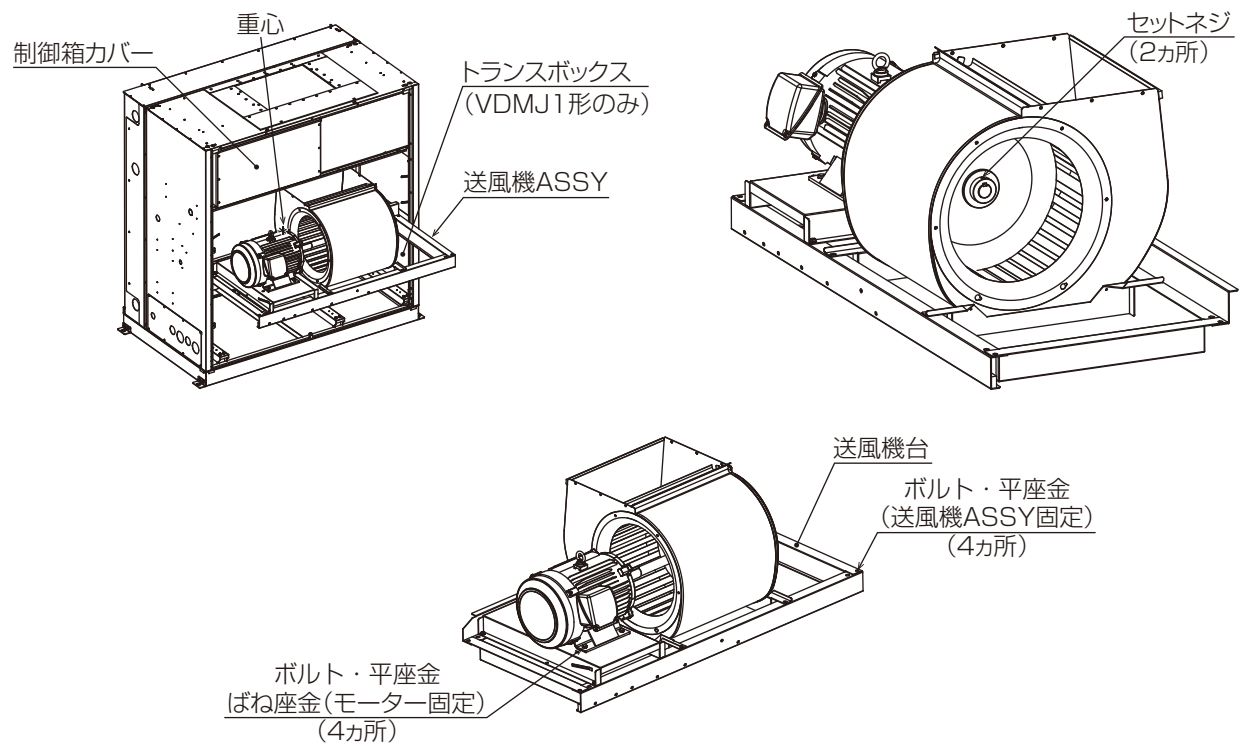


■ PFAV-P670・800・1120形, PFAV-P1000・1250-F形

手順

1. 下左パネル (8.5kg) と、下右パネル (8.5kg) を取外す。(ねじ 13 本)
※ 下右パネルを取外す際、リモコン配線のコネクターを取外す。
2. 上パネル (8kg) とパネル取付板 (2.5kg) を取外す。(ねじ 13 本)
3. ファンダクトとファンケーシングの固定ねじを取外す。(ねじ 6 本)
4. 〈VDMJ1 形の場合〉
トランスボックスと制御箱の渡り線をトランスボックス側で取外す。
※ トランスボックスのカバーを外し、中継コネクターと配線を取り外す。(ねじ 4 本)
5. 送風機 ASSY のボルトを取外す。(ボルト 4 本, 平座金 4 個)
6. モーターの配線を取外す。
モーターの端子箱を開け、それぞれの配線を端子台から取外し、端子箱から抜き取ってください。
7. 送風機 ASSY (24・30HP : 145kg, 40HP : 180kg) を手前に引出す。
※ 予め送風機 ASSY 手前側を支える台を準備してください。
※ 送風機 ASSY の重心は、製品本体正面から見て左側に偏っていますので、引出す際は、送風機 ASSY の中心から左寄りを支えてください。
8. ファンケーシングのベルマウス (右) (0.5kg) を取外す。(ねじ 6 本)
9. シロッコファン (16kg) のセットねじを緩める。(セットねじ 2 本)
10. シロッコファンをファンケーシング右側面から引き抜く。
※ モーターからシロッコファンが取外せない場合はモーターシャフトとシロッコファン間の防錆材をリムーバー (推奨品: 大日本塗料株式会社 COSMOREX #1000) を用いて落としてください。
11. モーター (24・30HP : 69kg, 40HP : 105kg) を取外す。(ボルト 4 本, ばね座金 4 個, 平座金 4 個)
12. モーターをモーター台に取付ける。(ボルト 4 本, ばね座金 4 個, 平座金 4 個)
13. モーター交換後、シロッコファンをモーター軸に差し込み、ベルマウスを取付ける。
14. シロッコファンとベルマウスのすきまが左右均等になる様に位置を調整する。
15. シロッコファンのセットねじを 10N・m のトルクで締め付ける。
16. モーターシャフトとシロッコファンを固定した後、防錆材 (推奨品: 大日本塗料株式会社 COSMOREX #2000) をぬってください。
17. 送風機 ASSY を製品本体に元通り取付ける。(ボルト 4 本, 平座金 4 個)
18. 手順 6 で取外した配線をモーターに取付ける。
19. 取外した部品をそれぞれ元通りに取付ける。





■ PFAV-P1400・1600形, PFAV-P1600-F形

<上側モーター交換時>

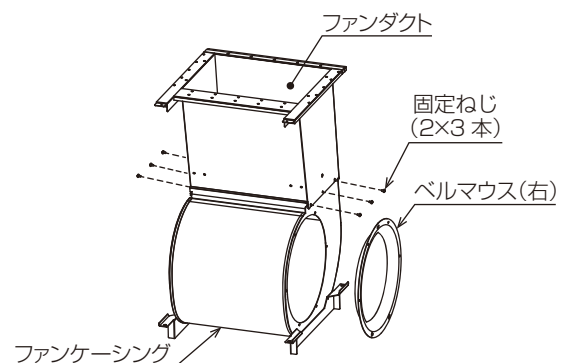
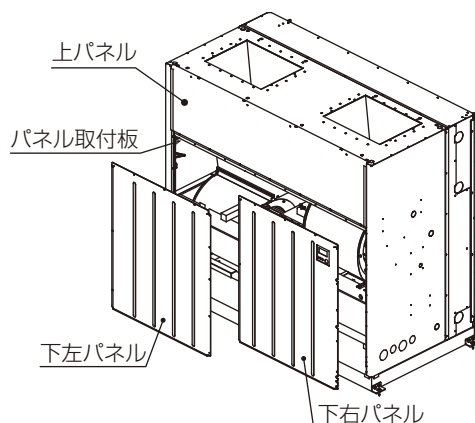
手順

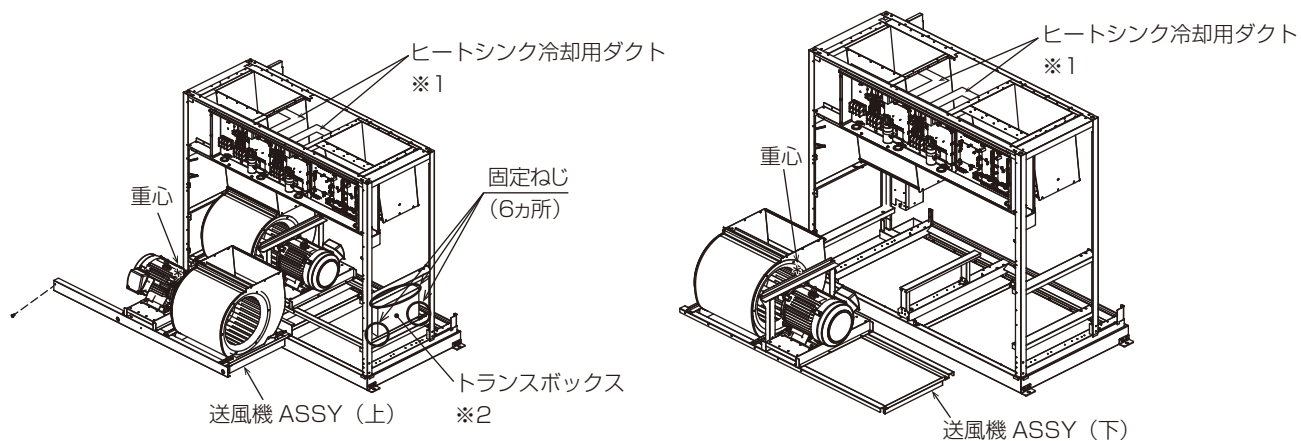
1. 下左パネル (9.5kg) と、下右パネル (9.5kg) を取外す。(ねじ 21 本)
※ 下右パネルを取外す際、リモコン配線のコネクターを取外す。
2. 上パネル (9kg) とパネル取付板 (3kg) を取外す。(ねじ 15 本)
3. 右上側ファンダクトとファンケーシングの固定ねじを取外す。(ねじ 6 本)
4. <VDMJ1 (-F) 形の場合>
トランスボックスと制御箱の渡り配線をトランスボックスの中継コネクター部で取外す。(3 ヵ所)
※ トランスボックス部カバーはねじ 4 ヵ所止めです。
※ 中継コネクター 3 ヵ所は手前の穴から 400V1 次側、400V2 次側、200V2 次側です。
※ 400V1 次側は送風機台の手前下、400V2 次側と 200V2 次側はリモコン線の奥側の配線クランプで
結束しています。(元通りに戻す場合に注意してください)
5. 右上側送風機台のボルトを取外す。(ボルト 4 本, 平座金 4 個)
6. モーターの配線を取外す。
モーターの端子箱を開け、それぞれの配線を端子台から取外し、端子箱から抜き取る。
7. 送風機 ASSY (50HP : 155kg, 60HP : 170kg) を手前に引出す。
※ 予め送風機 ASSY 手前側を支える台を準備してください。
※ 送風機 ASSY の重心は、製品本体正面から見て左側に偏っていますので、引出す際は、送風機 ASSY の
中心から左寄りを支えてください。
8. ファンケーシングのベルマウス (右) (0.5kg) を取外す。(ねじ 6 本)
9. シロッコファン (16kg) のセットねじを緩める。(セットねじ 2 本)
10. シロッコファンをファンケーシング右側面から引き抜く。
※ モーターからシロッコファンが取外せない場合はモーターシャフトとシロッコファン間の防錆材をリ
ムーバー (推奨品: 大日本塗料株式会社 COSMOREX #1000) を用いて落としてください。
11. モーター (50HP : 69kg, 60HP : 105kg) を取外す。(ボルト 4 本, ばね座金 4 個, 平座金 4 個)
12. モーター交換後、シロッコファンをモーター軸に差し込み、ベルマウスを取付ける。
13. シロッコファンとベルマウスのすきまが左右均等になる様に位置を調整する。
14. シロッコファンのセットねじを 10N・m のトルクで締め付ける。
15. モーターシャフトとシロッコファンを固定した後、防錆材 (推奨品: 大日本塗料株式会社 COSMOREX
#2000) をぬってください。
16. 取外した部品をそれぞれ元通りに取付ける。

<下側モーター交換時>

手順

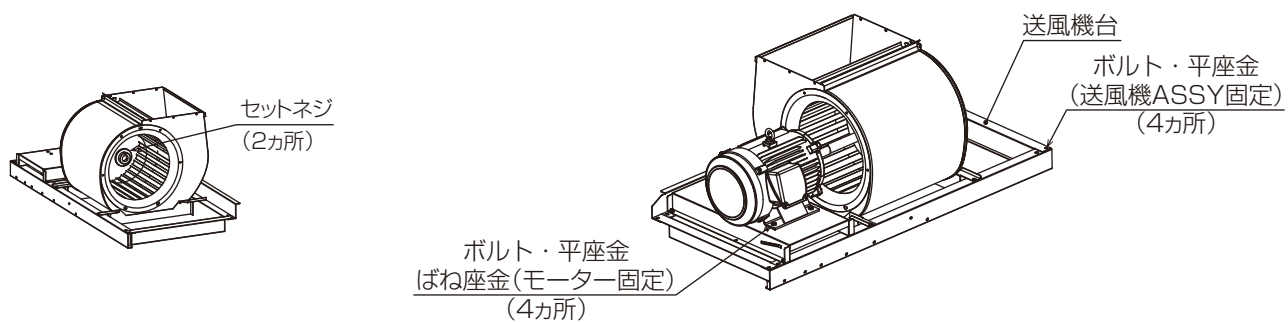
1. 先に上側送風機 ASSY とトランスボックスを取外す。(手順 1 ~ 7 参照)
2. 送風機台のボルトを取外す。(ボルト 4 本)
3. 上側モーター交換作業を参考に部品を取外す。





※1 ヒートシンク冷却用ダクトは異電圧仕様 (PFAV-VDMJ1 (-F)) の場合に取付けています。

※2 トランスボックスは異電圧仕様 (PFAV-P-VDMJ1 (-F)) の場合に取付けています。



7. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約(有料)いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご連絡ください。

JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有料）をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトを参照してください。*JRA: 一般社団法人 日本冷凍空調工業会

- JRA GL-14 について、<https://www.jraia.or.jp/info/gl-14/>
- 冷媒フロン類取扱技術者制度について、http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/

様式1 冷媒漏えい点検記録簿(汎用版)

年 月 日 ~ 年 月 日

管理番号

施設所有者				設備製造者				設置年月日					
施設名称			系統名	電話			型式	製品区分		設置方式		現地施工	
施設所在地				電話				製番	検知装置		使用機器		
運転管理責任者				電話				用途	合計充填量		合計回収量	合計排出量	排出係数(%)
点検事業者	会社名		所在地	責任者			電話		冷媒量(kg)	実績(月)			
使用冷媒		初期充填量(kg)		点検周期	基準	実績(月)	資格者名	資格者登録No.	チェックリストNo.	確認者			
作業年月日	点検理由		充填量(kg)	回収量(kg)	監視・検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	チェックリストNo.	確認者		

8. 製品独自のお願い事項

8-1. 廃棄について

警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を
実行

注意

ユニット内の冷媒は回収すること。

- 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。



指示を
実行

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、専門の回収業者に依頼してください。

8-2. 移設時の据付場所について

警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

- 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店(工事店)、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客さま相談窓口(別紙)に相談してください。
- 据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。
- ユニットの移設時は、販売店または専門業者に依頼し、据付場所は「据付工事説明書」に従って選定してください。

9. 据付工事の確認と試運転

- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。
- 据付工事が完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。

内容	チェック欄
• 「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。	
• 運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。	
• 試運転に立ち会いましたか。	
• 据付工事説明書の据付工事のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。	

10. 仕様

(1) 標準仕様

		PFHV-P80DMJ1 (-C)		PFHV-P140DMJ1 (-C)	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P80DMJ1	PUHV-P80DMJ1 (-C)	PFAV-P140DMJ1	PUHV-P140DMJ1 (-C)
電源		三相200V 50/60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	7.1 (8.0)		12.5 (14.0)	
冷房消費電力	(kW)	1.75		3.83	
暖房能力(最大)	(kW)	8.0 (10.8)		14.0 (16.0)	
暖房消費電力	(kW)	1.97		3.74	
通年エネルギー消費効率 (APF2006)		4.9		5.1	
区分名		ao		ao	
外形寸法 *3	高さ (mm)	1750	1338	1750	1338
	幅 (mm)	760	1050	760	1050
	奥行 (mm)	485	330+25	485	330+25
風量 *3	(m ³ /min)	27	110	45	110
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	61	70	68	71
	暖房		70		73
製品質量 *3	(kg)	121	122	123	122

		PFHV-P224DMJ1		PFHV-P280DMJ1	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P224DMJ1	PUHV-P224DMJ1	PFAV-P280DMJ1	PUHV-P280DMJ1
電源		三相200V 50/60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	20.0 (22.4)		25.0 (28.0)	
冷房消費電力	(kW)	5.60		6.98	
暖房能力(最大)	(kW)	22.4 (25.0)		28.0 (31.5)	
暖房消費電力	(kW)	6.27		7.81	
通年エネルギー消費効率 (APF2006)		5.0		5.0	
区分名		ap		ap	
外形寸法 *3	高さ (mm)	1750	1650	1750	1650
	幅 (mm)	980	920	980	920
	奥行 (mm)	485	740	485	740
風量 *3	(m ³ /min)	65	165	90	185
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	68	76.5	76	80.5
	暖房				
製品質量 *3	(kg)	136	169	140	180

		PFHV-P450DMJ1		PFHV-P560DMJ1		PFHV-P670DMJ1		
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	
		PFAV-P450DMJ1	PUHV-P450DMJ1	PFAV-P560DMJ1	PUHV-P280SDMJ1 x2	PFAV-P670DMJ1	PUHV-P280SDMJ1	PUHV-P400SDMJ1
電源		三相200V 50/60Hz						
冷房能力(最大)	(kW)	40.0(45.0)		50.0(56.0)		63.0(67.0)		
冷房消費電力	(kW)	13.20		15.38		19.54		
暖房能力(最大)	(kW)	45.0(50.0)		56.0(63.0)		63.0(71.0)		
暖房消費電力	(kW)	13.47		16.42		16.80		
外形寸法 *3	高さ (mm)	1900	1650	1900	1650 × 2	1830	1650	1650
	幅 (mm)	1200	1220	1200	920 × 2	1750	920	1220
	奥行 (mm)	635	740	635	740 × 2	1064	740	740
風量 *3	(m ³ /min)	140	210	165	185 × 2	210	185	210
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	75	83	78	83.5	77	85	
	暖房							
製品質量 *3	(kg)	240	241	240	185 × 2	418	185	221

		PFHV-P800DMJ1		PFHV-P1120DMJ1	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P800DMJ1	PUHV-P400SDMJ1 × 2	PFAV-P1120DMJ1	PUHV-P400SDMJ1 × 3
電源		三相200V 50/60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	71.0(80.0)		100.0(112.0)	
冷房消費電力	(kW)	21.13		32.07	
暖房能力(最大)	(kW)	80.0(90.0)		112.0(126.0)	
暖房消費電力	(kW)	21.73		31.90	
外形寸法 *3	高さ(mm)	1830	1650 × 2	1830	1650 × 3
	幅(mm)	1750	1220 × 2	1750	1220 × 3
	奥行(mm)	1064	740 × 2	1064	740 × 3
風量 *3	(m³/min)	260	210 × 2	340	210 × 3
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	82	85.5	85	87.5
	暖房				
製品質量 *3	(kg)	424	221 × 2	473	221 × 3

		PFHV-P1400DMJ1		PFHV-P1600DMJ1	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P1400DMJ1	PUHV-P500SDMJ1 × 3	PFAV-P1600DMJ1	PUHV-P400SDMJ1 × 4
電源		三相200V 50/60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	122.0(140.0)		140.0(160.0)	
冷房消費電力	(kW)	39.41		39.89	
暖房能力(最大)	(kW)	140.0(160.0)		160.0(180.0)	
暖房消費電力	(kW)	38.36		42.67	
外形寸法 *3	高さ(mm)	1830	1650 × 3	1830	1650 × 4
	幅(mm)	2045	1220 × 3	2045	1220 × 4
	奥行(mm)	1064	740 × 3	1064	740 × 4
風量 *3	(m³/min)	450	210 × 3	520	210 × 4
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	77	88	79	89
	暖房				
製品質量 *3	(kg)	649	241 × 3	722	221 × 4

※1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。

※2 上表の騒音値は、JRA4065:2013「パッケージエアコンディショナーの音響パワーレベル試験方法」に基づいた値です。

※3 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。

※4 能力欄の()内は最大値を示します。

区分名

室内機の種類	冷房能力	区分名
ダクト形	20.0kW未満	a o
	20.0kW以上28.0kW以下	a p

上表は、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示第213号(平成21年)による区分名を示す。

お願い

- ・ ユニットの使用範囲を守ってください。
範囲外で使用した場合、故障するおそれがあります。

(2) オールフレッシュ仕様

		PFHV-P167DMJ1 (-C) -F		PFHV-P265DMJ1-F	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P167DMJ1-F	PUHV-P140DMJ1 (-C)	PFAV-P265DMJ1-F	PUHV-P224DMJ1
電源		三相200V 50/60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	14.0 (16.7)		22.4 (26.5)	
冷房消費電力	(kW)	3.02		4.97	
暖房能力(最大)	(kW)	12.5 (14.0)		20.0 (22.4)	
暖房消費電力	(kW)	3.52		5.35	
外形寸法 *3	高さ (mm)	1750	1338	1750	1650
	幅 (mm)	760	1050	980	920
	奥行 (mm)	485	330+25	485	740
風量 *3	(m ³ /min)	20	110	35	165
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	46		54	76.5
	暖房	71		73	
製品質量 *3	(kg)	123	122	138	169

		PFHV-P335DMJ1-F		PFHV-P530DMJ1-F	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P335DMJ1-F	PUHV-P280DMJ1	PFAV-P530DMJ1-F	PUHV-P450DMJ1
電源		三相200V 50/60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	28.0 (33.5)		45.0 (53.0)	
冷房消費電力	(kW)	6.06		11.56	
暖房能力(最大)	(kW)	26.5 (28.0)		40.0 (45.0)	
暖房消費電力	(kW)	7.04		11.73	
外形寸法 *3	高さ (mm)	1750	1650	1900	1650
	幅 (mm)	980	920	1200	1220
	奥行 (mm)	485	740	635	740
風量 *3	(m ³ /min)	45	185	70	210
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	62		67	83
	暖房	80.5		83	
製品質量 *3	(kg)	142	180	207	241

		PFHV-P670DMJ1-F		PFHV-P1000DMJ1-F	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P670DMJ1-F	PUHV-P280SDMJ1 × 2	PFAV-P1000DMJ1-F	PUHV-P400SDMJ1 × 2
電源		三相200V 50/60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	56.0 (67.0)		80.0 (100.0)	
冷房消費電力	(kW)	14.32		18.94	
暖房能力(最大)	(kW)	50.0 (56.0)		71.0 (80.0)	
暖房消費電力	(kW)	13.62		18.29	
外形寸法 *3	高さ (mm)	1900	1650 × 2	1830	1650 × 2
	幅 (mm)	1200	920 × 2	1750	1220 × 2
	奥行 (mm)	635	740 × 2	1064	740 × 2
風量 *3	(m ³ /min)	90	185 × 2	120	210 × 2
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	75		72	85.5
	暖房	83.5		85.5	
製品質量 *3	(kg)	207	185 × 2	424	221 × 2

		PFHV-P1250DMJ1-F		PFHV-P1600DMJ1-F	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P1250DMJ1-F	PUHV-P400SDMJ1 × 3	PFAV-P1600DMJ1-F	PUHV-P500SDMJ1 × 3
電源		三相200V 50/60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	112.0(125.0)		140.0(160.0)	
冷房消費電力	(kW)	27.28		33.66	
暖房能力(最大)	(kW)	90.0(100.0)		112.0(125.0)	
暖房消費電力	(kW)	21.63		29.32	
外形寸法 *3	高さ(mm)	1830	1650 × 3	1830	1650 × 3
	幅(mm)	1750	1220 × 3	2045	1220 × 3
	奥行(mm)	1064	740 × 3	1064	740 × 3
風量 *3	(m ³ /min)	150	210 × 3	200	210 × 3
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	73	87.5	74	88
	暖房				
製品質量 *3	(kg)	441	221 × 3	504	241 × 3

※1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。

※2 上表の騒音値は、JRA4065：2013「パッケージエアコンディショナーの音響パワーレベル試験方法」に基づいた値です。

※3 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。

※4 能力欄の()内は最大値を示します。

お願い

- ユニットの使用範囲を守ってください。
範囲外で使用した場合、故障するおそれがあります。

(3) 標準仕様(異電圧仕様)

		PFHV-P80VDMJ1 (-C)		PFHV-P140VDMJ1 (-C)	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P80VDMJ1	PUHV-P80VDMJ1 (-C)	PFAV-P140VDMJ1	PUHV-P140VDMJ1 (-C)
電源		三相380V, 400V, 415V, 440V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	7.1 (8.0)		12.5 (14.0)	
冷房消費電力	(kW)	1.75		3.83	
暖房能力(最大)	(kW)	8.0 (10.8)		14.0 (16.0)	
暖房消費電力	(kW)	1.97		3.74	
通年エネルギー消費効率 (APF2006)		4.9		5.1	
区分名		ao		ao	
外形寸法 *3	高さ(mm)	1750	1338	1750	1338
	幅(mm)	760	1050	760	1050
	奥行(mm)	485	330+25	485	330+25
風量 *3	(m ³ /min)	27	110	45	110
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	61	70	68	71
	暖房		70		73
製品質量 *3	(kg)	136	129	136	129

		PFHV-P224VDMJ1		PFHV-P280VDMJ1	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P224VDMJ1	PUHV-P224VDMJ1	PFAV-P280VDMJ1	PUHV-P280VDMJ1
電源		三相380V, 400V, 415V, 440V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	20.0 (22.4)		25.0 (28.0)	
冷房消費電力	(kW)	5.60		6.98	
暖房能力(最大)	(kW)	22.4 (25.0)		28.0 (31.5)	
暖房消費電力	(kW)	6.27		7.81	
通年エネルギー消費効率 (APF2006)		5.0		5.0	
区分名		ap		ap	
外形寸法 *3	高さ(mm)	1750	1650	1750	1650
	幅(mm)	980	920	980	920
	奥行(mm)	485	740	485	740
風量 *3	(m ³ /min)	65	165	90	185
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	68	76.5	76	80.5
	暖房				
製品質量 *3	(kg)	150	183	154	195

		PFHV-P450VDMJ1		PFHV-P560VDMJ1		PFHV-P670VDMJ1		
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	
		PFAV-P450VDMJ1	PUHV-P450VDMJ1	PFAV-P560VDMJ1	PUHV-P280VSDMJ1 x2	PFAV-P670VDMJ1	PUHV-P280VSDMJ1	PUHV-P400VSDMJ1
電源		三相380V, 400V, 415V, 440V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz						
冷房能力(最大)	(kW)	40.0(45.0)		50.0(56.0)		63.0(67.0)		
冷房消費電力	(kW)	13.20		15.38		19.54		
暖房能力(最大)	(kW)	45.0(50.0)		56.0(63.0)		63.0(71.0)		
暖房消費電力	(kW)	13.47		16.42		16.80		
外形寸法 *3	高さ(mm)	1900	1650	1900	1650 x 2	1830	1650	1650
	幅(mm)	1200	1220	1200	920 x 2	1750	920	1220
	奥行(mm)	635	740	635	740 x 2	1064	740	740
風量 *3	(m ³ /min)	140	210	165	185 x 2	210	185	210
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	75	83	78	83.5	77	85	
	暖房							
製品質量 *3	(kg)	254	257	254	200 x 2	438	200	238

		PFHV-P800VDMJ1		PFHV-P1120VDMJ1	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P800VDMJ1	PUHV-P400VSDMJ1×2	PFAV-P1120VDMJ1	PUHV-P400VSDMJ1×3
電源		三相380V, 400V, 415V, 440V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	71.0(80.0)		100.0(112.0)	
冷房消費電力	(kW)	21.13		32.07	
暖房能力(最大)	(kW)	80.0(90.0)		112.0(126.0)	
暖房消費電力	(kW)	21.73		31.90	
外形寸法 ^{※3}	高さ(mm)	1830	1650×2	1830	1650×3
	幅(mm)	1750	1220×2	1750	1220×3
	奥行(mm)	1064	740×2	1064	740×3
風量 ^{※3}	(m ³ /min)	260	210×2	340	210×3
騒音値(PWL) (dB(A特性値)) ^{※2}	冷房	82	85.5	85	87.5
	暖房				
製品質量 ^{※3}	(kg)	444	238×2	496	238×3

		PFHV-P1400VDMJ1		PFHV-P1600VDMJ1	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P1400VDMJ1	PUHV-P500VSDMJ1×3	PFAV-P1600VDMJ1	PUHV-P400VSDMJ1×4
電源		三相380V, 400V, 415V, 440V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	122.0(140.0)		140.0(160.0)	
冷房消費電力	(kW)	39.41		39.89	
暖房能力(最大)	(kW)	140.0(160.0)		160.0(180.0)	
暖房消費電力	(kW)	38.36		42.67	
外形寸法 ^{※3}	高さ(mm)	1830	1650×3	1830	1650×4
	幅(mm)	2045	1220×3	2045	1220×4
	奥行(mm)	1064	740×3	1064	740×4
風量 ^{※3}	(m ³ /min)	450	210×3	520	210×4
騒音値(PWL) (dB(A特性値)) ^{※2}	冷房	77	88	79	89
	暖房				
製品質量 ^{※3}	(kg)	673	257×3	746	238×4

※1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。

※2 上表の騒音値は、JRA4065:2013「パッケージエアコンディショナーの音響パワーレベル試験方法」に基づいた値です。

※3 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。

※4 能力欄の()内は最大値を示します。

区分名

室内機の種類	冷房能力	区分名
ダクト形	20.0kW未満	a o
	20.0kW以上28.0kW以下	a p

上表は、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示第213号(平成21年)による区分名を示す。

お願い

- ・ ユニットの使用範囲を守ってください。
範囲外で使用した場合、故障するおそれがあります。

(4) オールフレッシュ仕様 (異電圧仕様)

		PFHV-P167VDMJ1 (-C) -F		PFHV-P265VDMJ1-F	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P167VDMJ1-F	PUHV-P140VDMJ1 (-C)	PFAV-P265VDMJ1-F	PUHV-P224VDMJ1
電源		三相380V, 400V, 415V, 440V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	14.0 (16.7)		22.4 (26.5)	
冷房消費電力	(kW)	3.02		4.97	
暖房能力(最大)	(kW)	12.5 (14.0)		20.0 (22.4)	
暖房消費電力	(kW)	3.52		5.35	
外形寸法 *3	高さ (mm)	1750	1338	1750	1650
	幅 (mm)	760	1050	980	920
	奥行 (mm)	485	330+25	485	740
風量 *3	(m ³ /min)	20	110	35	165
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	46		54	76.5
	暖房	71		73	
製品質量 *3	(kg)	136	129	152	183

		PFHV-P335VDMJ1-F		PFHV-P530VDMJ1-F	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P335VDMJ1-F	PUHV-P280VDMJ1	PFAV-P530VDMJ1-F	PUHV-P450VDMJ1
電源		三相380V, 400V, 415V, 440V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	28.0 (33.5)		45.0 (53.0)	
冷房消費電力	(kW)	6.06		11.56	
暖房能力(最大)	(kW)	26.5 (28.0)		40.0 (45.0)	
暖房消費電力	(kW)	7.04		11.73	
外形寸法 *3	高さ (mm)	1750	1650	1900	1650
	幅 (mm)	980	920	1200	1220
	奥行 (mm)	485	740	635	740
風量 *3	(m ³ /min)	45	185	70	210
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	62	80.5	67	83
	暖房	62		83	
製品質量 *3	(kg)	156	195	221	257

		PFHV-P670VDMJ1-F		PFHV-P1000VDMJ1-F	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P670VDMJ1-F	PUHV-P280VSDMJ1 × 2	PFAV-P1000VDMJ1-F	PUHV-P400VSDMJ1 × 2
電源		三相380V, 400V, 415V, 440V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	56.0 (67.0)		80.0 (100.0)	
冷房消費電力	(kW)	14.32		18.94	
暖房能力(最大)	(kW)	50.0 (56.0)		71.0 (80.0)	
暖房消費電力	(kW)	13.62		18.29	
外形寸法 *3	高さ (mm)	1900	1650 × 2	1830	1650 × 2
	幅 (mm)	1200	920 × 2	1750	1220 × 2
	奥行 (mm)	635	740 × 2	1064	740 × 2
風量 *3	(m ³ /min)	90	185 × 2	120	210 × 2
騒音値 (PWL) (dB(A特性値)) *2	冷房	75	83.5	72	85.5
	暖房	75		85.5	
製品質量 *3	(kg)	221	238 × 2	444	238 × 2

		PFHV-P1250VDMJ1-F		PFHV-P1600VDMJ1-F	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P1250VDMJ1-F	PUHV-P400VSDMJ1×3	PFAV-P1600VDMJ1-F	PUHV-P500VSDMJ1×3
電源		三相380V, 400V, 415V, 440V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz			
冷房能力(最大)	(kW)	112.0(125.0)		140.0(160.0)	
冷房消費電力	(kW)	27.28		33.66	
暖房能力(最大)	(kW)	90.0(100.0)		112.0(125.0)	
暖房消費電力	(kW)	21.63		29.32	
外形寸法 ^{※3}	高さ(mm)	1830	1650×3	1830	1650×3
	幅(mm)	1750	1220×3	2045	1220×3
	奥行(mm)	1064	740×3	1064	740×3
風量 ^{※3}	(m ³ /min)	150	210×3	200	210×3
騒音値(PWL) (dB(A特性値)) ^{※2}	冷房	73	87.5	74	88
	暖房				
製品質量 ^{※3}	(kg)	461	238×3	524	257×3

※1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。

※2 上表の騒音値は、JRA4065：2013「パッケージエアコンディショナーの音響パワーレベル試験方法」に基づいた値です。

※3 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。

※4 能力欄の()内は最大値を示します。

お願い

- ユニットの使用範囲を守ってください。
範囲外で使用した場合、故障するおそれがあります。

11. 修理を依頼する前に

以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源スイッチを切ってください。故障の状況と表示部の英数字を、お買上げの販売店（工事店）にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない。 よく暖まらない。	フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している。	フィルターの清掃をしてください。
	設定温度が高くまたは低くなっている。	温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
	室内ユニットの吹き出し口・吸込み口が塞がれている。	室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
	窓やドアが開いている。	窓やドアを閉めてください。 オールフレッシュタイプ以外の空調機が停止していないか確認してください。オールフレッシュだけでは室内温度を一定にできません。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きまます。この霜を溶かしています。	そのまま約7分（最大12分）ほどお待ちください。
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。	—
	霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。	—
室外ユニットより水・水蒸気が出る。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。	—
	暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。	—
	霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出る場合があります。	—
リモコンの運転表示が点灯しない。	電源が入っていないことが考えられます。	電源を確認してください。 ユニットの電源が入っていないと、リモコン表示が点灯しません。
再運転のために停止後すぐに【運転・停止】ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	エアコンを保護するため、マイコンの指示で止まっています。	再運転をした場合は、運転するまで約3分間待ってください。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	集中コントローラーなどで、操作を制限されている場合に表示します。	—
	運転操作設定を遠方（外部）入力にしている場合に表示します。	—
リモコンの運転表示が点灯するが、室外ユニットが運転しない。	室内ユニット、もしくは室外ユニットへデマンド入力されている場合、室外ユニットが運転しません。	—
【運転・停止】ボタンを押さないのに、勝手に動き出した。	入タイマー運転をしている。	【運転・停止】ボタンを押して停止してください。
	外部入力信号にてON操作している。	—
	集中コントローラーなどで、操作されている。	—
	電源発停機能が設定されている。	電源発停機能を使用しない場合は、お買上げ販売店に相談してください。
	停電自動復帰が設定されている。	【運転・停止】ボタンを押して停止してください。 停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買上げ販売店に相談してください。

現象	原因の確認	処置方法
[運転・停止] ボタンを押さないのに、勝手に停止した。	切タイマー運転をしている。	[運転・停止] ボタンを押して運転を再開してください。
	外部入力信号にてOFF操作している。	—
	集中コントローラーなどで、操作されている。	—
[運転・停止] ボタンを押したのに停止しない。	暖房運転中に停止ボタンを押されると、余熱排除のため約1分間、室内ファンが回ることがあります。	—
	ペーパーパン加湿器を組込んだ場合、水蒸気発生防止のため約3分間、室内ファンが回ることがあります。	
	室内ユニットの設定によっては、余熱排除のため、運転停止後約3分間室内ファンが回ることがあります。さらに別売ペーパーパン加湿器を組込んだ場合は、最大約6分間室内ファンが回ることがあります。	
リモコンのタイマー運転がセットできない。	タイマー設定が無効となっている。	タイマー設定を有効にしてください。
		スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。
リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。	初期設定(約2分)を行っています。	そのままお待ちください。
リモコンにエラーコードが表示される。	自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。	自分では絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。
ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	乾電池が消耗している。	乾電池を交換し、[リセット] ボタンを押してください。 新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方(+、-)を再度確認してください。
ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯が点滅する。	自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。	自分では絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名を連絡してください。
風が冷たい、熱い。	オールフレッシュタイプの場合、サーモOFF時に外気が直接室内に吹き出します。不快に感じる場合は、設定温度をサーモOFFになりにくい温度に変更してください。 改善されない場合は、お買い上げ販売店に相談してください。	—
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	暖かな風をおとどけするための準備中です。 リモコンに“暖房準備中”が表示されます。そのまま待ってください。	—
ファンモーターの回転数が勝手に変わる。	機器の保護のためや周囲の状況により回転数を自動で変化させることがあります。	回転数が安定するまでそのままお待ちください。 頻繁に回転数が変わる場合は、販売店に連絡してください。

12. 法令関連の表示

12-1. 機器予防保全の目安

保証期間を示しているものではありません。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など）		20,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
容器（アキュムレータなど）		20,000時間
膨張弁		20,000時間
バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
センサー（サーミスター、圧力センサーなど）		5年
ドレンパン		8年
アクティブフィルター（AF基板,RF基板,ACファン）※1		4年

※1 製品の運転時間が10時間/日、2500時間/年よりも長くなる場合のみ対象とします。

- 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。
- 定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有料になります。
- 電気部品に絶対に水（洗浄水など）をかけないでください。

上表は次の使用条件が前提となります。

- 頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
（機種により異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。）
- 製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年と仮定しています。

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
- 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。）
- 振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
- 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミストなど良くない雰囲気でご使用される場合。
- 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24時間空調など）

12-2. 消耗部品の点検周期目安

保証期間を示しているものではありません。

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年※1
高性能フィルター		1年※1
ヒューズ		10年

※1 使用環境、じんあい量などによって異なりますので早い時期での確認をお願いします。

- 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

13. 保証とアフターサービス

13-1. 保証について

- ・保証書は室外ユニットに添付しています。室外ユニットの保証書でセットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- ・保証書は、必ず「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入をお確かめのうえ、販売店（工事店）からお受け取りください。
保証書は内容をよくお読みになったあと、大切に保管してください。
- ・保証期間は、お買上げ日（据付日または運転完了日）から1年間です。
保証期間でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。
- ・製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れ等による家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

13-1-1. 保証できない範囲

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- 1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障。
- 2) お買上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障。
- 3) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障。
- 4) 保証書のご提示がない場合。
- 5) 保証書にお客様名、据付日、販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
- 6) 車輻、船舶などに搭載された場合生じる故障。
- 7) 据付工事による故障。
- 8) 室内のフィルター詰まり、ドレンパン詰まりなどによる故障。

13-2. 補修用性能部品の保有期間

- ・当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後9年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
この基準により、補修用性能部品を調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施いたします。

13-3. 修理について

- 修理を依頼される時は、「11. 修理を依頼する前に」にしたがってお調べください。(72ページ参照)
- 不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず元電源を遮断してから、お買い上げの販売店(工事店・指定のサービス店)かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)にご連絡ください。
- 保証期間中は、修理に際しまして、保証書をご提示ください。保証書の規程にしたがって、販売店(工事店)が修理させていただきます。
- なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては、販売店に相談してください。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- 修理料金は、技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金
部品代	修理に使用した部品代金
出張料	製品のある場所へ技術員を派遣する料金

- 必要に応じて据付(接続・調整・取扱説明など)依頼すると有料になることがあります。
- ご連絡いただきたい内容(出張修理対象商品)

品名	取扱説明書の表紙に記載
形名	取扱説明書の表紙に記載
お買い上げ日	保証書発行の年月日： 年 月 日
故障の状況	「できるだけ具体的に」
ご住所	「付近の目印なども」
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

13-4. 移設について

- 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口(別紙)にご相談ください。

13-5. お問い合わせ

- ・ ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店（工事店・指定のサービス店）かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。
（所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。）

お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

14. 環境関連の表示

[1] 再資源化について

このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として製品本体を材質別に容易に分解できる構造になっています。

[2] フロン排出抑制法

ユニットを廃棄されるときは、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買い上げの販売店(工事店)、またはメーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口にご相談してください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。



室内ユニットおよび室外ユニットに表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを確認していただくための表示です。

この製品はフロン排出抑制法の第一種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

室内ユニットにはフロン類の種類・GWP(地球温暖化係数)が表示されています。システム全体のフロン類の数量は室外ユニットに表示されています。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 冷媒の種類および数量並びにGWP(地球温暖化係数)は、室外ユニットに記載されています。
- 冷媒を追加充てんした場合やサービスで冷媒を入れ替えた場合には室外ユニットの<冷媒量記入のお願い>の記入欄に必要事項を記入してください。

MEMO

愛情点検

●長年ご使用のパッケージエアコンの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2020年12月作成

WT08244X08